

8. その他発電用原子炉の附属施設

8.1 非常用電源設備

8.1.1 常用電源設備との切替方法

	変 更 前	変 更 後
非常用ディーゼル発電設備	手動及び自動	変更なし
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	手動及び自動	変更なし
ガスタービン発電設備	—	手動
可搬型代替交流電源設備	—	手動
可搬型代替直流電源設備	—	手動
緊急時対策所ディーゼル発電設備	—	手動
可搬型窒素ガス供給装置発電設備	—	—

8.1.2 非常用発電装置

8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備

(2) 内燃機関

イ 機関 (常設)

			変更前		変更後		
名称			非常用ディーゼル機関		変更なし		
機	種類	—	4サイクルたて形 <input type="checkbox"/> 気筒ディーゼル機関				
	出力	kW/個	6435*1				
	回転速度*2	min ⁻¹ *3	500				
	燃料	種類	—	軽油			
		使用量	ℓ/h/個	<input type="checkbox"/>			
個数	—	2					
関	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	非常用ディーゼル機関A 非常用ディーゼル発電設備A系*4			非常用ディーゼル機関B 非常用ディーゼル発電設備B系*4
		設置床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m*4			原子炉建屋 O.P. 15.00m*4
	溢水防護上の区画番号	—	—				R-1F-13
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		床上0.10m以上	床上0.10m以上	
過給機	種類	—	排気タービン式		変更なし		
	出口の圧力	kPa	<input type="checkbox"/> *1 (最大連続回転時)				
	回転速度*2	min ⁻¹ *3	<input type="checkbox"/> (最大連続回転速度)				
	個数	—	4 (ディーゼル機関1台につき2)				
取付箇所	—	機関と同じ*4					

注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「燃料/発熱量」、「燃料/硫黄分」、「燃料/窒素分」、「燃料/灰分」、「排出ガス量」、「ばい煙量」、「ばい煙濃度/窒素酸化物」、「ばい煙濃度/ばいじん」及び「常用又は非常用の別」の記載を削除。

注記*1：S I 単位に換算したものである。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「rpm」と記載。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ロ 調速装置及び非常調速装置

			変 更 前		変 更 後
			調速装置	非常調速装置	変更なし
名	称	—	油圧式	電気-空気式	
種	類	—			

ハ 内燃機関に附属する冷却水設備（常設）

			変更前		変更後	
名称			機関付清水ポンプ		変更なし	
種類			うず巻形			
容量*1			□以上*2(230*3)			
個数			2（ディーゼル機関1台につき1）			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	機関付清水ポンプA 非常用ディーゼル発電設備A系	機関付清水ポンプB 非常用ディーゼル発電設備B系		
	設置床	—	原子炉建屋 O. P. 15. 00m	原子炉建屋 O. P. 15. 00m		
	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			
				R-1F-13	R-1F-16	
				床上0. 10m以上	床上0. 10m以上	

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：公称値を示す。

ニ 内燃機関に附属する空気圧縮設備
1 空気だめ(常設)

			変更前				変更後
名称			空気だめ(自動)		空気だめ(手動)		変更なし
種類	—		たて置円筒形				
容量	m ³ /個		□ 以上*1(3*2)				
最高使用圧力	MPa		3.24*3				
最高使用温度	℃		90*1				
主要寸法	胴内径	mm	1200*2				
	胴板厚さ	mm	□ *4(22.0*2)				
	鏡板厚さ	mm	□ *4(22.0*2)				
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1200*2,*4 (鏡板の内面における長径)				
		mm	300*2,*4 (鏡板の内面における短径の2分の1)				
	管台外径(空気入口)	mm	48.6*2,*4				
	管台厚さ(空気入口)	mm	□ *4(5.1*2,*4)				
	管台外径(空気出口)	mm	60.5*2,*4				
	管台厚さ(空気出口)	mm	□ *4(5.5*2,*4)				
	マンホール外径	mm	424*2,*4 (管台外径における長径)				
		mm	324*1,*2 (管台外径における短径)				
	マンホール厚さ	mm	□ *4(22.0*2,*4)				
	マンホール平板厚さ	mm	□ *4(36.0*2,*4)				
高さ*5	mm	2904*2,*6					
材料	胴板	—	SGV480*7				
	鏡板	—	SGV480*7				
	マンホール平板	—	SGV480*1				
個数	—	2*8		2*8			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	空気だめ(自動)A 非常用ディーゼル発電設備A系*1	空気だめ(自動)B 非常用ディーゼル発電設備B系*1	空気だめ(手動)A 非常用ディーゼル発電設備A系*1	空気だめ(手動)B 非常用ディーゼル発電設備B系*1	
	設置床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m	原子炉建屋 O.P. 15.00m	原子炉建屋 O.P. 15.00m	原子炉建屋 O.P. 15.00m	
	溢水防護上の区画番号	—	—				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—				

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

*3 : S I 単位に換算したものである。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

- *4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-6-1-1 空気だめの強度計算書」による。
- *5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- *6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカート高さを含んだ「3104」と記載。記載内容は、設計図書による。
- *7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49」と記載。
- *8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「4 (ディーゼル機関1台につき2) 」と記載。

2 空気だめの安全弁（常設）

		変更前		変更後	
名称		R43-F318*1		変更なし	
種類	—	非平衡型			
吹出圧力	MPa	3.24*2			
吹出量	kg/h/個	959*3			
主要寸法	呼び径	—*4	20A*5		
	のど部の径	mm	□*6		
	弁座口の径	mm	15.0*6		
	リフト	mm	□以上*6		
材料	弁箱*7	—	SCPH2		
個数	—	2（空気だめ1個につき1）*8			
取付箇所	系統名 （ライン名）	—	R43-F318A 非常用ディーゼル発電設備A系		R43-F318B 非常用ディーゼル発電設備B系
	設置床	—	原子炉建屋 O. P. 15.00m		原子炉建屋 O. P. 15.00m
	溢水防護上の 区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気だめ安全弁」と記載。記載内容は、設計図書による。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-4-8 非常用ディーゼル発電設備空気だめ安全弁の吹出量計算書」による。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(A)」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「20」と記載。

*6：公称値を示す。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料(弁箱)」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書にはR43-F318とR43-F319を合わせた「4（空気だめ1個につき1）」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気だめ胴部」と記載。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

		変更前		変更後	
名称		R43-F319*1		変更なし	
種類	—	非平衡型			
吹出圧力	MPa	3.24*2			
吹出量	kg/h/個	959*3			
主要寸法	呼び径	—*4	20A*5		
	のど部の径	mm	□*6		
	弁座口の径	mm	15.0*6		
	リフト	mm	□以上*6		
材料	弁箱*7	—	SCPH2		
個数	—	2 (空気だめ1個につき1) *8			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	R43-F319A 非常用ディーゼル発電設備A系		R43-F319B 非常用ディーゼル発電設備B系
	設置床	—	原子炉建屋 O. P. 15. 00m		原子炉建屋 O. P. 15. 00m
	溢水防護上の 区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気だめ安全弁」と記載。記載内容は、設計図書による。

*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-4-8 非常用ディーゼル発電設備空気だめ安全弁の吹出量計算書」による。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(A)」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「20」と記載。

*6 : 公称値を示す。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料(弁箱)」と記載。

*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には R43-F318 と R43-F319 を合わせた「4 (空気だめ1個につき1)」と記載。

*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気だめ胴部」と記載。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク (常設)

			変 更 前*1	変更後
名	称		燃料デイトンク	
種	類	—	たて置円筒形	
容	量	m ³ /個	<input type="text"/> 以上(20*2)	
最 高 使 用 圧 力		MPa	静水頭	
最 高 使 用 温 度		℃	45	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	2800*2	
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (9.0*2)	
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (9.0*2)	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	2800*2 (鏡板の内面における長径)	
		mm	700*2 (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	管 台 外 径 (燃 料 入 口)	mm	60.5*2	
	管 台 厚 さ (燃 料 入 口)	mm	<input type="text"/> (5.5*2)	
	管 台 外 径 (燃 料 出 口)	mm	60.5*2	
	管 台 厚 さ (燃 料 出 口)	mm	<input type="text"/> (5.5*2)	
	マンホール外径	mm	518*2	
	マンホール厚さ	mm	<input type="text"/> (9.0*2)	
	マンホール 平 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (12.0*2)	
	高 さ	mm	4058*2	
材 料	胴 板	—	SS400	
	鏡 板	—	SS400	
	マンホール平板	—	SS400	
個	数	—	2 (ディーゼル機関1台につき1)	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	燃料デイトンクA 非常用ディーゼル発 電設備A系	燃料デイトンクB 非常用ディーゼル発 電設備B系
	設 置 床	—	原子炉建屋 O. P. 24. 80m	原子炉建屋 O. P. 24. 80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

変更なし

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料貯蔵量 (ディーゼル機関1台につき) 燃料デイトンク : 20m³ (定格運転8時間分)」と記載。記載内容は、設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

(4) 燃料設備
イ ポンプ (常設)

			変更前	変 更 後		
名 称				燃料移送ポンプ*1		
ポ ン プ	種 類	—		スクリー形		
	容 量	m ³ /h/個		□ 以上 (4*2)		
	揚 程	m		□ 以上 (60*2)		
	最 高 使 用 圧 力	MPa		0.98		
	最 高 使 用 温 度	℃		66		
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm		65*2	
		吐 出 内 径	mm		50*2	
		た て	mm		275*2	
		横	mm		490*2	
		高 さ	mm		135*2	
	材 料	ケ ー シ ン グ	—		SC450	
	個 数	—		2		
	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		燃料移送ポンプ A 非常用ディーゼル 発電設備 A 系	燃料移送ポンプ B 非常用ディーゼル 発電設備 B 系
		設 置 床	—		屋外 燃料移送ポンプ室 O. P. 9. 50m	屋外 燃料移送ポンプ室 O. P. 9. 50m
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		LOT-1	LOT-2	
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		床上 0. 44m 以上	床上 0. 44m 以上	
原 動 機	種 類	—		誘導電動機		
	出 力	kW/個		2. 2		
	個 数	—		2		
	取 付 箇 所	—		ポンプと同じ		

注記*1 : 本設備は既存の設備である。

*2 : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ロ 容器 (常設)

			変更前	変 更 後	
名 称				非常用ディーゼル発電設備 軽油タンク*1	
種 類		—		横置円筒形	
容 量		m ³ /個		□ 以上(110*2)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		静水頭	
最 高 使 用 温 度		℃		66	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		3500*2	
	胴 板 厚 さ	mm		□ (28.0*2)	
	鏡 板 厚 さ	mm		□ (28.0*2)	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm		3500*2 (鏡板の内面における長径)	
	管 台 外 径 (液 出 口)	mm		875*2 (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm		60.5*2	
	全 長	mm		□ (3.9*2)	
					13056*2
材 料	胴 板	—		SM400C	
	鏡 板	—		SM400C	
個 数		—		6	
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		軽油タンク A, C, E 非常用ディーゼル発電 設備 A 系	軽油タンク B, D, F 非常用ディーゼル発電 設備 B 系
	設 置 床	—		屋外 地下軽油タンク室 O. P. 9. 50m	屋外 地下軽油タンク室 O. P. 9. 50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記*1 : 非常用電源設備の非常用発電装置 (ガスタービン発電設備, 可搬型代替交流電源設備, 可搬型代替直流電源設備, 可搬型窒素ガス供給装置発電設備), 補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。

*2 : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ニ 主配管（常設）

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
非常用ディーゼル発電設備	—					非常用ディーゼル発電設備	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク ～ 燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ^{*3}	0.98	66	60.5	(5.5)	STPT410
							燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ～ 燃料移送ポンプ	0.98	66	60.5	(5.5)	STPT410
										60.5	(5.5)	STPT370
										76.3	(5.2)	STPT370
							燃料移送ポンプ ～ 燃料デイトンク	0.98	66	60.5	(5.5)	STPT370
60.5 ^{*4}	(5.5) ^{*4}	STPT38 ^{*4}										

注記*1：外径は公称値を示す。

*2：()内は公称値を示す。

*3：非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備，可搬型代替交流電源設備，可搬型代替直流電源設備，可搬型窒素ガス供給装置発電設備），補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。

*4：本設備は既存の設備である。

(5) 発電機
イ 発電機 (常設)

			変更前		変更後	
名称			非常用ディーゼル発電機*1		変更なし	
種類	—		同期発電機			
容量	kVA/個		7625			
主要寸法	たて	mm	3710*1, *2			
	横	mm	4640*1, *2			
	高さ	mm	3050*1, *2			
力率	%*3	80*4				
電圧	V	6900				
相	—	3				
周波数	Hz	50				
回転速度*5	min ⁻¹ *6	500				
結線法	—	星形				
冷却方法*7	—	空気冷却				
個数	—	2 (ディーゼル機関1個につき1) *8				
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	非常用ディーゼル発電機A 非常用ディーゼル発電設備A系 *1	非常用ディーゼル発電機B 非常用ディーゼル発電設備B系 *1		
	設置床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m *1	原子炉建屋 O.P. 15.00m *1		
	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			
			R-1F-13	R-1F-16		
			床上 0.10m以上	床上 0.10m以上		

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.8」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「rpm」と記載。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却法」と記載。

*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2 (ディーゼル機関1台につき1)」と記載。

ロ 励磁装置 (常設)

			変 更 前		変 更 後	
名	称		励磁装置*1		変更なし	
種	類	—	静止形自励式			
容	量	kW/個	42.9			
個	数	—	2 (発電機1個につき1) *2			
取 付 箇 所	系 (ラ イ ン 名)	—	励磁装置A 非常用ディーゼル発電設備A系 *1	励磁装置B 非常用ディーゼル発電設備B系 *1		
	設 置 床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m *1	原子炉建屋 O.P. 15.00m *1		
	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			
				R-1F-13-1	R-1F-16-1	
				床上 0.00m以上	床上 0.00m以上	

注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「回転数」及び「駆動方法」の記載を削除。

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2 (発電機1台につき1)」と記載。

ハ 保護継電装置

		変 更 前	変 更 後
名 称		保護継電装置*1	
種 類	自 動 遮 断 用	ディーゼル発電機比率差動継電器	変更なし
		ディーゼル発電機逆電力継電器	
		ディーゼル発電機過電流継電器	
	警 報 用	ディーゼル発電機地絡継電器	
		ディーゼル発電機界磁地絡継電器	
		ディーゼル発電機過電圧継電器	

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

ニ 原動機との連結方法

		変更前	変更後
連結方法	—	直結*1	変更なし

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「機関直結」と記載。

8.1.2.2 高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備
 (2) 内燃機関
 イ 機関 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			高圧炉心スプレィ系ディーゼル機関		
機	種 類	—	4サイクルたて形 <input type="text"/> 気筒ディーゼル機関		
	出 力	kW/個	3236*1		
	回 転 速 度*2	min ⁻¹ *3	1000		
	燃 料	種 類	—	軽油	
		使 用 量	ℓ/h/個	<input type="text"/>	
個 数	—	1			
関	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	高圧炉心スプレィ系ディーゼル機関 高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備 *4		
		設 置 床	原子炉建屋 O. P. 15.00m *4		
	溢水防護上の区画番号	—	R-1F-15		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	床上0.14m以上		
過 給 機	種 類	—	排気タービン式		
	出 口 の 圧 力	kPa	<input type="text"/> *1 (最大連続回転時)		
	回 転 速 度*2	min ⁻¹ *3	<input type="text"/> (最大連続回転速度)		
	個 数	—	2		
取 付 箇 所	—	機関と同じ*4			

注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「燃料/発熱量」、「燃料/硫黄分」、「燃料/窒素分」、「燃料/灰分」、「排出ガス量」、「ばい煙量」、「ばい煙濃度/窒素酸化物」、「ばい煙濃度/ばいじん」及び「常用又は非常用の別」の記載を削除。

注記*1：S I 単位に換算したものである。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「rpm」と記載。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ロ 調速装置及び非常調速装置

			変 更 前		変 更 後
			調速装置	非常調速装置	変更なし
名	称	—	油圧式	電気-空気式	
種	類	—			

ハ 内燃機関に附属する冷却水設備（常設）

			変 更 前	変 更 後
名 称			機関付清水ポンプ	変更なし
種 類	—		うず巻形	
容 量*1	m ³ /h/個		□以上*2(150*3)	
個 数	—		1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	機関付清水ポンプ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 *2	
	設 置 床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m *2	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	床上0.14m以上

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：公称値を示す。

ニ 内燃機関に附属する空気圧縮設備
1 空気だめ(常設)

			変更前		変更後
名称			空気だめ(自動)	空気だめ(手動)	
種類	—		たて置円筒形		
容量	m ³ /個		□ 以上*1(3*2)		
最高使用圧力	MPa		3.24*3		
最高使用温度	℃		90*1		
主要寸法	胴内径	mm	1200*2		
	胴板厚さ	mm	□ *4(22.0*2)		
	鏡板厚さ	mm	□ *4(22.0*2)		
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1200*2,*4 (鏡板の内面における長径)		
		mm	300*2,*4 (鏡板の内面における短径の2分の1)		
	管台外径(空気入口)	mm	48.6*2,*4		
	管台厚さ(空気入口)	mm	□ *4(5.1*2,*4)		
	管台外径(空気出口)	mm	60.5*2,*4		
	管台厚さ(空気出口)	mm	□ *4(5.5*2,*4)		
	マンホール外径	mm	424*2,*4 (管台外径における長径)		
		mm	324*1,*2 (管台外径における短径)		
	マンホール厚さ	mm	□ *4(22.0*2,*4)		
	マンホール平板厚さ	mm	□ *4(36.0*2,*4)		
高さ*5	mm	2904*2,*6			
材料	胴板	—	SGV480*7		
	鏡板	—	SGV480*7		
	マンホール平板	—	SGV480*1		
個数	—	1*8		1*8	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	空気だめ(自動) 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備*1	空気だめ(手動) 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備*1	
	設置床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m*1	原子炉建屋 O.P. 15.00m*1	
	溢水防護上の区画番号	—	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		

変更なし

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

*3 : S I 単位に換算したものである。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

- *4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-6-2-1 空気だめの強度計算書」による。
- *5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- *6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカート高さを含んだ「3104」と記載。記載内容は、設計図書による。
- *7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49」と記載。
- *8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2」と記載。

2 空気だめの安全弁（常設）

			変 更 前	変更後
名 称			R44-F318*1	変更なし
種 類	—		非平衡型	
吹 出 圧 力	MPa		3.24*2	
吹 出 量	kg/h/個		959*3	
主 要 寸 法	呼 び 径	—*4	20A*5	
	の ど 部 の 径	mm	□*6	
	弁 座 口 の 径	mm	15.0*6	
	リ フ ト	mm	□以上*6	
材 料	弁 箱*7	—	SCPH2	
個 数	—		1*8	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	R44-F318 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	
	設 置 床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

- 注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気だめ安全弁」と記載。記載内容は、設計図書による。
- *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-4-9 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備空気だめ安全弁の吹出量計算書」による。
- *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(A)」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「20」と記載。
- *6：公称値を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料(弁箱)」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既工事計画書にはR44-F318とR44-F319を合わせた「2(空気だめ1個につき1)」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気だめ胴部」と記載。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

			変更前	変更後
名 称			R44-F319*1	変更なし
種 類	—		非平衡型	
吹 出 圧 力	MPa		3.24*2	
吹 出 量	kg/h/個		959*3	
主 要 寸 法	呼 び 径	—*4	20A*5	
	の ど 部 の 径	mm	<input type="text"/> *6	
	弁 座 口 の 径	mm	15.0*6	
	リ フ ト	mm	<input type="text"/> 以上*6	
材 料	弁 箱*7	—	SCPH2	
個 数		—	1*8	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	R44-F319 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備*9	
	設 置 床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m*9	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気だめ安全弁」と記載。記載内容は、設計図書による。

*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-4-9 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備空気だめ安全弁の吹出量計算書」による。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(A)」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「20」と記載。

*6 : 公称値を示す。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料(弁箱)」と記載。

*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には R44-F318 と R44-F319 を合わせた「2 (空気だめ1個につき1)」と記載。

*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気だめ胴部」と記載。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク (常設)

			変 更 前*1	変更後
名 称			燃料デイトンク	変更なし
種 類	—		たて置円筒形	
容 量	m ³ /個		□以上(14* ²)	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭	
最 高 使 用 温 度	℃		45	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	2600* ²	
	胴 板 厚 さ	mm	□(9.0* ²)	
	鏡 板 厚 さ	mm	□(9.0* ²)	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	2600* ² (鏡板の内面における長径)	
		mm	650* ² (鏡板の内面における短径の2分の1)	
	管 台 外 径 (燃 料 入 口)	mm	60.5* ²	
	管 台 厚 さ (燃 料 入 口)	mm	□(5.5* ²)	
	管 台 外 径 (燃 料 出 口)	mm	60.5* ²	
	管 台 厚 さ (燃 料 出 口)	mm	□(5.5* ²)	
	マンホール外径	mm	518* ²	
	マンホール厚さ	mm	□(9.0* ²)	
	マンホール 平 板 厚 さ	mm	□(12.0* ²)	
	高 さ	mm	3268* ²	
材 料	胴 板	—	SS400	
	鏡 板	—	SS400	
	マンホール平板	—	SS400	
個 数	—		1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	燃料デイトンク 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	
	設 置 床	—	原子炉建屋 O.P. 24. 80m	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料貯蔵量 燃料デイトンク : 14m³ (定格運転8時間分)」と記載。記載内容は、設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(4) 燃料設備
イ ポンプ (常設)

			変更前	変 更 後	
名 称				燃料移送ポンプ*1	
ポ ン プ	種 類	—		スクリー形	
	容 量	m ³ /h/個		□以上(4*2)	
	揚 程	m		□以上(60*2)	
	最 高 使 用 圧 力	MPa		0.98	
	最 高 使 用 温 度	℃		66	
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm		65*2
		吐 出 内 径	mm		50*2
		た て	mm		275*2
		横	mm		490*2
		高 さ	mm		135*2
	材 料	ケ ー シ ン グ	—		SC450
	個 数	—			1
	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		燃料移送ポンプ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備
		設 置 床	—		屋外 燃料移送ポンプ室 O. P. 9. 50m
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		LOT-3	
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		床上 0. 44m 以上	
原 動 機	種 類	—		誘導電動機	
	出 力	kW/個		2. 2	
	個 数	—		1	
	取 付 箇 所	—		ポンプと同じ	

注記*1 : 本設備は既存の設備である。

*2 : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ロ 容器 (常設)

			変更前	変 更 後	
名 称				高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 軽油タンク*1	
種 類		—		横置円筒形	
容 量		m ³ /個		<input type="text"/> 以上(170*2)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		静水頭	
最 高 使 用 温 度		℃		66	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		4000*2	
	胴 板 厚 さ	mm		<input type="text"/> (28.0*2)	
	鏡 板 厚 さ	mm		<input type="text"/> (28.0*2)	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法		mm		4000*2 (鏡板の内面における長径)
			mm		1000*2 (鏡板の内面における短径の2分の1)
	管 台 外 径 (液 出 口)	mm		60.5*2	
	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm		<input type="text"/> (5.5*2)	
	全 長	mm		15256*2	
材 料	胴 板	—		SM490C	
	鏡 板	—		SM490C	
個 数		—		1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		軽油タンク 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	
	設 置 床	—		屋外 地下軽油タンク室 O. P. 6. 10m	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記*1 : 非常用電源設備の非常用発電装置 (ガスタービン発電設備, 可搬型代替交流電源設備, 可搬型代替直流電源設備, 可搬型窒素ガス供給装置発電設備), 補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。

*2 : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ニ 主配管（常設）

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	—	—	—	—	—	*3 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク ～ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点	0.98	66	60.5	(5.5)	STPT410
						高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ	0.98	66	60.5	(5.5)	STPT410
									60.5	(5.5)	STPT370
									76.3	(5.2)	STPT370
						燃料移送ポンプ ～ 燃料デイトンク	0.98	66	60.5	(5.5)	STPT370
									60.5*4	(5.5)*4	STPT38*4

注記*1：外径は公称値を示す。

*2：()内は公称値を示す。

*3：非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備，可搬型代替交流電源設備，可搬型代替直流電源設備，可搬型窒素ガス供給装置発電設備），補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。

*4：本設備は既存の設備である。

(5) 発電機
イ 発電機 (常設)

			変更前	変更後
名 称			高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機*1	変更なし
種 類	—		同期発電機	
容 量	kVA/個		3750	
主 要 寸 法	た て	mm	5180*1, *2	
	横	mm	4460*1, *2	
	高 さ	mm	2450*1, *2	
力 率	%*3		80*4	
電 圧	V		6900	
相	—		3	
周 波 数	Hz		50	
回 転 速 度*5	^{*6} min ⁻¹		1000	
結 線 法	—		星形	
冷 却 方 法*7	—		空気冷却	
個 数	—		1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備*1	
	設 置 床	—	原子炉建屋 O.P. 15.00m*1	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		R-1F-15
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		床上 0.14m以上

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.8」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「rpm」と記載。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却法」と記載。

ロ 励磁装置 (常設)

			変 更 前	変更後
名 称			励磁装置*1	変更なし
種 類	—		静止形自励式	
容 量	kW/個		34.1	
個 数	—		1	
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	*1 励磁装置 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	R-1F-15-1
	設 置 床	—	*1 原子炉建屋 O.P. 15.00m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	床上 0.00m以上
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「回転数」及び「駆動方法」の記載を削除。

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

ハ 保護継電装置

		変 更 前	変 更 後
名 称		保護継電装置*1	
種 類	自 動 遮 断 用	ディーゼル発電機比率差動継電器	変更なし
		ディーゼル発電機逆電力継電器	
		ディーゼル発電機過電流継電器	
	警 報 用	ディーゼル発電機地絡継電器	
		ディーゼル発電機界磁地絡継電器	
		ディーゼル発電機過電圧継電器	

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

ニ 原動機との連結方法

		変更前	変更後
連結方法	—	直結*1	変更なし

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「機関直結」と記載。

8.1.2.3 ガスタービン発電設備

(1) ガスタービン

イ ガスタービン (常設)

			変更前	変更後
種類	—		—	単純開放サイクル1軸式
出力	kW/個			3810
圧力	入口	MPa		0.10133
	出口	MPa		<input type="text"/>
温度	入口	℃		40
	出口	℃		<input type="text"/>
設計外気温度	℃			40
回転速度	min ⁻¹			<input type="text"/> *
被動機一体の危険速度	min ⁻¹			<input type="text"/>
排出ガス量	kg/h/個			<input type="text"/>
個数	—			2
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ガスタービン機関 ガスタービン発電設備
	設置床	—		緊急用電気品建屋 O. P. 62. 90m
	溢水防護上の 区画番号	—		E-1F-1
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	床上 0.00m 以上	

注記*：タービン軸における値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ハ 調速装置及び非常調速装置

			変 更 前	変 更 後
調速装置	種 類	—	—	電気式
非常調速装置	種 類	—		電気式

(4) 燃料設備
イ ポンプ

			変更前	変 更 後	
名 称				ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	
ポ ン プ	種 類	—		スクリー形	
	容 量*1	m ³ /h/個		□以上(3*2)	
	揚 程*1	m		□以上(61*2)	
	最 高 使 用 圧 力*1	MPa		0.95	
	最 高 使 用 温 度*1	℃		50	
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm		65*2
		吐 出 内 径	mm		50*2
		た て	mm		275*2
		横	mm		490*2
		高 さ	mm		135*2
	材 料	ケ ー シ ン グ	—		SC480
	個 数	—			2
	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		燃料移送ポンプ ガスタービン発電設備
		設 置 床	—		屋外 ガスタービン発電設備 軽油タンク室上部 O.P. 62.30m
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		屋外	
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		床上 0.00m 以上	
原 動 機	種 類	—		誘導電動機	
	出 力	kW/個		1.5	
	個 数	—		2	
	取 付 箇 所	—		ポンプと同じ	

注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。

*2 : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ロ 容器 (常設)

			変更前	変 更 後
名 称				ガスタービン発電設備軽油タンク*1
種 類		—		横置円筒形
容 量	m ³ /個			□以上(110* ³)
最 高 使 用 圧 力*2	MPa			静水頭
最 高 使 用 温 度*2	℃			50
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		3100* ³
	胴 板 厚 さ	mm		□(32.0* ³)
	鏡 板 厚 さ	mm		□(32.0* ³)
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm		3100* ³ (鏡板の内面における長径)
	管 台 外 径 (給 油 口)	mm		775* ³ (鏡板の内面における短径の2分の1)
	管 台 厚 さ (給 油 口)	mm		89.1* ³
	管 台 外 径 (液 出 口)	mm		□(11.1* ³)
	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm		60.5* ³
	全 長	mm		□(8.7* ³)
材 料	胴 板	—		SM490C
	鏡 板	—		SM490C
個 数		—		3
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		軽油タンク ガスタービン発電設備
	設 置 床	—		屋外 ガスタービン発電設備軽油タンク室 O. P. 56.70m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*1 : 非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型代替交流電源設備, 可搬型代替直流電源設備, 可搬型窒素ガス供給装置発電設備), 補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。

*2 : 重大事故等時における使用時の値。

*3 : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

			変更前	変 更 後
名 称				ガスタービン発電設備燃料小出槽
種 類	—			たて置円筒形
容 量	m ³ /個			□ 以上 (0.6 ^{*2})
最 高 使 用 圧 力 ^{*1}	MPa			静水頭
最 高 使 用 温 度 ^{*1}	℃			50
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		1009 ^{*2}
	胴 板 厚 さ	mm		□ (4.0 ^{*2})
	平 板 厚 さ	mm		□ (5.0 ^{*2})
	屋 根 板 厚 さ	mm		□ (5.0 ^{*2})
	管 台 外 径 (燃 料 入 口)	mm		34.0 ^{*2}
	管 台 厚 さ (燃 料 入 口)	mm		□ (3.5 ^{*2})
	管 台 外 径 (燃 料 出 口)	mm	—	34.0 ^{*2}
	管 台 厚 さ (燃 料 出 口)	mm		□ (3.5 ^{*2})
	高 さ	mm		810 ^{*2}
材 料	胴 板	—		SUS304
	平 板	—		SUS304
	屋 根 板	—		SUS304
個 数	—			2
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		燃料小出槽 ガスタービン発電設備
	設 置 床	—		緊急用電気品建屋 O.P. 62.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。

*2 : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

	変更前	変 更 後
名 称	—	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器（常設） に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）であり、非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備）として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器 (常設) に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備）であり、非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備）として本工事計画で兼用とする。

ロ 容器（可搬型）

	変更前	変更後
名 称	—	タンクローリ*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (2) 容器（可搬型） に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備）として本工事計画で兼用とする。

ニ 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度*3 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
ガスタービン発電設備	—					ガスタービン発電設備軽油タンク給油口 ～ ガスタービン発電設備軽油タンク	0.95	50	60.5	(5.5)	STS410
									89.1	(5.5)	STS410
						*4 ガスタービン発電設備軽油タンク ～ ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点	0.95	50	60.5	(5.5)	STS410
						ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点 ～ ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	0.95	50	60.5	(5.5)	STS410
									76.3	(5.2)	STS410
						ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ ～ ガスタービン発電設備燃料小出槽	0.95	50	60.5	(5.5)	STS410
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP
						*5 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク ～ 燃料移送ポンプ入口配管分岐点	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備 ニ 主配管 (常設) に記載する。				
						*6 燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ～ 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管 (常設) に記載する。				
*7 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク ～ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 ニ 主配管 (常設) に記載する。										

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力*3 (MPa)	最高使用 温 度*3 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
ガスタービン発電設備		—				ガスタービン発電設備 *6 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ～ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口					8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。

注記*1：外径は公称値を示す。

*2：()内は公称値を示す。

*3：重大事故等時における使用時の値。

*4：非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備，可搬型代替直流電源設備，可搬型窒素ガス供給装置発電設備），補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。

*5：本設備は，非常用電源設備の非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）であり，非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備）として本工事計画で兼用とする。

*6：本設備は，補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり，非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備）として本工事計画で兼用とする。

*7：本設備は，非常用電源設備の非常用発電装置（高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備）であり，非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備）として本工事計画で兼用とする。

ニ 主配管（可搬型）

	変更前	変更後
名 称	—	軽油払出用ホース(外径 63mm:2m)*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（可搬型） に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備）として本工事計画で兼用とする。

(5) 発電機
イ 発電機 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ガスタービン発電機
種 類	—			同期発電機
容 量	kVA/個			4500
主 要 寸 法	た て	mm		 *
	横	mm		 *
	高 さ	mm		 *
力 率	%			80
電 圧	V			6900
相	—			3
周 波 数	Hz			50
回 転 速 度	min ⁻¹			1500
結 線 法	—			星形
冷 却 方 法	—			自由通流
個 数	—			2 (ガスタービン機関 1 個につき 1)
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		ガスタービン発電機 ガスタービン発電設備
	設 置 床	—		緊急用電気品建屋 O. P. 62.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	E-1F-1	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	床上 0.00m以上	

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ロ 励磁装置 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ガスタービン発電機励磁装置	
種 類	—			交流励磁機	
容 量	kW/個			<input type="text"/>	
個 数	—			2 (発電機 1 個につき 1)	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ガスタービン発電機励磁装置 ガスタービン発電設備	
	設 置 床	—		緊急用電気品建屋 O. P. 62. 90m	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		E-1F-1	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		床上 0. 00m以上	

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ハ 保護継電装置

		変 更 前	変 更 後	
名 称			ガスタービン発電機保護継電装置	
種 類	自 動 遮 断 用	—	過電圧継電器	
			不足電圧継電器	
	過電流継電器			
警 報 用	逆電力継電器			
	逆相検出器			
				地絡過電圧継電器

ニ 原動機との連結方法

		変 更 前	変 更 後
連 結 方 法	—	—	減速機を介して連結

8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備

(2) 内燃機関

イ. 機関 (可搬型)

				変更前	変更後	
機 関	名 称			—	電源車 (内燃機関) *1	
	種 類	—			4 サイクル水冷直列直接噴射式 ディーゼル機関	
	出 力	kW/個			430	
	回 転 速 度	min ⁻¹			1500	
	燃 料	種 類	—		軽油	
		使 用 量	L/h/個		100	
	個 数	—			1*2	
	取 付 箇 所	—			電源車	
過	種 類	—		排気タービン式		
	出 口 の 圧 力	kPa		□		
給 機	回 転 速 度	min ⁻¹		□		
	個 数	—		1*2		
	取 付 箇 所	—		機関と同じ		

注記*1：本設備は、電源車（発電機）の付属機器である。

*2：電源車（発電機）1個当たりの個数を示す。

02 ① II RO

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ロ. 調速装置及び非常調速装置

		変 更 前	変 更 後	
名 称		—	電源車 (調速装置) *	電源車 (非常調速装置) *
種 類	—		電気式	電気式

注記* : 本設備は, 電源車 (発電機) の付属機器である。

ハ. 内燃機関に附属する冷却水設備（可搬型）

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	電源車（冷却水ポンプ）*1
種 類	—			うず巻式
容 量	m ³ /h/個			<input type="text"/>
個 数	—			1*2
取 付 箇 所	—			電源車

注記*1：本設備は，電源車（発電機）の附属機器である。

*2：電源車（発電機）1個当たりの個数を示す。

ホ. 燃料デイトンク又はサービスタンク（可搬型）

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	電源車（燃料タンク）*1
種 類	—			角形
容 量	L/個			200 以上（250*2）
最 高 使 用 圧 力*4	MPa			大気圧
最 高 使 用 温 度*4	℃			60
主 要 寸 法	た て	mm		535*2
	横	mm		1268*2
	高 さ	mm		395*2
材 料	—			A5052P-H34
個 数	—			1*3
取 付 箇 所	—			電源車

注記*1：本設備は，電源車（発電機）の付属機器である。

*2：公称値を示す。

*3：電源車（発電機）1個当たりの個数を示す。

*4：重大事故等時の使用時の値。

(4) 燃料設備
 □ 容器 (常設)

	変更前	変 更 後
名 称	—	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器 (常設) に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置 (非常用ディーゼル発電設備) であり、非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型代替交流電源設備) として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器 (常設) に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備) であり、非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型代替交流電源設備) として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	ガスタービン発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.3 ガスタービン発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器 (常設) に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備）であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ロ 容器（可搬型）

	変更前	変更後
名称	—	タンクローリ*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (2) 容器（可搬型） に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ニ 主配管（常設）

名 称	変 更 前	変 更 後
*1 非常用ディーゼル発電設備 軽油タンク ～ 燃料移送ポンプ入口配管分岐点	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 ニ 主配管（常設） に記載する。
*2 燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ～ 非常用ディーゼル発電設備 軽油タンク払出口	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。
*3 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク ～ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 ニ 主配管（常設） に記載する。
*2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ～ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。
*4 ガスタービン発電設備軽油タンク ～ ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.3 ガスタービン発電設備 (4) 燃料設備 ニ 主配管（常設） に記載する。
*2 ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点 ～ ガスタービン発電設備軽油タンク払出口	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。

注記*1：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

*2：本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

*3：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設

備)であり、非常用電源設備の非常用発電装置(可搬型代替交流電源設備)として本
工事計画で兼用とする。

- *4 : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置(ガスタービン発電設備)であり、非常
用電源設備の非常用発電装置(可搬型代替交流電源設備)として本工事計画で兼用と
する。

ニ 主配管（可搬型）

	変更前	変 更 後
名 称	—	軽油払出用ホース(外径 63mm:2m)*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（可搬型） に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	給油用ホース(φ25:50m)*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管(可搬型) に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置(可搬型代替交流電源設備)として本工事計画で兼用とする。

(5) 発電機

イ 発電機 (可搬型)

			変更前	変更後
名 称				電源車 (発電機) *1
種 類	—			同期発電機
容 量	kVA/個			400
主 要 寸 法	た て	mm		1352*2
	横	mm		750*2
	高 さ	mm		730*2
	車 両 全 長	mm		6900*2
	車 両 全 幅	mm		2200*2
	車 両 高 さ	mm		2970*2
力 率	%			85 (遅れ)
電 圧	V			6900
相	—			3
周 波 数	Hz			50
回 転 速 度	min ⁻¹			1500
結 線 法	—		—	星形
冷 却 方 法	—			空気冷却
個 数	—			4(予備 1) *1
取 付 箇 所	—			保管場所： ・第1保管エリア O.P.約 62m ・第2保管エリア O.P.約 62m ・第3保管エリア O.P.約 14.8m ・第4保管エリア O.P.約 62m 上記4箇所のうち、第2保管エリア及び第3保管エリアにそれぞれ2台、合計4個保管するとともに、残り1個を第4保管エリアに保管する。 取付箇所： ・電源車接続口 (原子炉建屋西側) O.P.約 14.8m ・電源車接続口 (原子炉建屋東側) O.P.約 14.8m

注記*1：可搬型代替交流電源設備及び可搬型代替直流電源設備として4個を兼用する。可搬型代替交流電源設備、可搬型代替直流電源設備及び緊急時対策所ディーゼル発電設備として予備1個を兼用する。

*2：公称値を示す。

ロ 励磁装置（可搬型）

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	電源車（励磁装置）*1
種 類	—	ブラシレス励磁方式		
容 量	kW/個	13		
個 数	—	1*2		
取 付 箇 所	—	電源車		

注記*1：本設備は，電源車（発電機）の付属機器である。

*2：電源車（発電機）1個当たりの個数を示す。

ハ 保護継電装置

		変 更 前	変 更 後
名 称		—	電源車（保護継電装置）*
種 類	—		不足電圧／過電圧継電器 過電流継電器 地絡過電圧継電器 逆電力継電器

注記*：本設備は，電源車（発電機）の付属機器である。

ニ 原動機との連結方法

		変 更 前	変 更 後
連 結 方 法	—	—	直結

8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備

(2) 内燃機関

イ. 機関（可搬型）

	変 更 前	変 更 後
名 称	—	電源車（内燃機関）*
8. その他発電用原子炉の付属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備 (2) 内燃機関 イ. 機関（可搬型） に記載する。		

注記*：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）であり、非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ロ. 調速装置及び非常調速装置

	変 更 前	変 更 後
名 称	—	電源車（調速装置）* 電源車（非常調速装置）
8. その他発電用原子炉の付属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備 (2) 内燃機関 ロ. 調速装置及び非常調速装置 に記載する。		

注記*：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）であり、非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ハ. 内燃機関に附属する冷却水設備（可搬型）

	変 更 前	変 更 後
名 称	—	電源車（冷却水ポンプ）*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備 (2) 内燃機関 ハ. 内燃機関に附属する冷却水設備（可搬型） に記載する。		

注記*：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）であり、非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ホ. 燃料デイトンク又はサービスタンク（可搬型）

	変 更 前	変 更 後
名 称	—	電源車（燃料タンク）*
<p>8. その他発電用原子炉の付属施設</p> <p>8.1 非常用電源設備</p> <p>8.1.2 非常用発電装置</p> <p>8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備</p> <p>(2) 内燃機関</p> <p>ホ. 燃料デイトンク又はサービスタンク（可搬型） に記載する。</p>		

注記*：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）であり、非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

(4) 燃料設備
 □ 容器 (常設)

	変更前	変更後
名 称	—	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器 (常設) に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置 (非常用ディーゼル発電設備) であり、非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型代替直流電源設備) として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器 (常設) に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備) であり、非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型代替直流電源設備) として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	ガスタービン発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.3 ガスタービン発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器 (常設) に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備）であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ロ 容器（可搬型）

	変更前	変更後
名称	—	タンクローリ*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (2) 容器（可搬型） に記載する。		

注記*：本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ニ 主配管（常設）

名 称	変 更 前	変 更 後
*1 非常用ディーゼル発電設備 軽油タンク ～ 燃料移送ポンプ入口配管分 岐点	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 ニ 主配管（常設） に記載する。
*2 燃料移送ポンプ入口配管分 岐点 ～ 非常用ディーゼル発電設備 軽油タンク払出口	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。
*3 高圧炉心スプレイ系ディー ゼル発電設備軽油タンク ～ 高圧炉心スプレイ系ディー ゼル発電設備燃料移送ポン プ入口配管分岐点	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル 発電設備 (4) 燃料設備 ニ 主配管（常設） に記載する。
*2 高圧炉心スプレイ系ディー ゼル発電設備燃料移送ポン プ入口配管分岐点 ～ 高圧炉心スプレイ系ディー ゼル発電設備軽油タンク払 出口	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。
*4 ガスタービン発電設備軽油 タンク ～ ガスタービン発電設備軽油 タンク出口配管分岐点	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.3 ガスタービン発電設備 (4) 燃料設備 ニ 主配管（常設） に記載する。
*2 ガスタービン発電設備軽油 タンク出口配管分岐点 ～ ガスタービン発電設備軽油 タンク払出口	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。

注記*1：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

*2：本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

*3：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設

備)であり、非常用電源設備の非常用発電装置(可搬型代替直流電源設備)として本
工事計画で兼用とする。

- *4 : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置(ガスタービン発電設備)であり、非常
用電源設備の非常用発電装置(可搬型代替直流電源設備)として本工事計画で兼用と
する。

ニ 主配管（可搬型）

	変更前	変 更 後
名 称	—	軽油払出用ホース(外径 63mm:2m)*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（可搬型） に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	給油用ホース(φ25:50m)*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管(可搬型) に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置(可搬型代替直流電源設備)として本工事計画で兼用とする。

(5) 発電機

イ. 発電機（可搬型）

	変 更 前	変 更 後
名 称	—	電源車（発電機）*
8. その他発電用原子炉の付属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備 (5) 発電機 イ. 発電機（可搬型） に記載する。		

注記*：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）であり、非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ロ. 励磁装置（可搬型）

	変 更 前	変 更 後
名 称	—	電源車（励磁装置）*
8. その他発電用原子炉の付属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備 (5) 発電機 ロ. 励磁装置（可搬型） に記載する。		

注記*：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）であり、非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ハ. 保護継電装置

	変 更 前	変 更 後
名 称	—	電源車（保護継電装置）*
8. その他発電用原子炉の付属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備 (5) 発電機 ハ. 保護継電装置 に記載する。		

注記*：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）であり、非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）として本工事計画で兼用とする。

ニ. 原動機との連結方法

8. その他発電用原子炉の付属施設

8.1 非常用電源設備

8.1.2 非常用発電装置

8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備

(5) 発電機

ニ. 原動機との連結方法
に記載する。

8.1.2.6 緊急時対策所ディーゼル発電設備

(2) 内燃機関

イ. 機関 (可搬型)

			変更前	変更後	
機 関	名 称		—	電源車 (緊急時対策所用) (内燃機関) *1	
	種 類	—		4 サイクル水冷直列直接噴射式 ディーゼル機関	
	出 力	kW/個		430	
	回 転 速 度	min ⁻¹		1500	
	燃 料	種 類		—	軽油
		使 用 量		L/h/個	100
	個 数	—		1*2	
	取 付 箇 所	—		電源車 (緊急時対策所用)	
過 給 機	種 類	—	排気タービン式		
	出 口 の 圧 力	kPa	<input type="text"/>		
	回 転 速 度	min ⁻¹	<input type="text"/>		
	個 数	—	1*2		
	取 付 箇 所	—	機関と同じ		

注記*1: 本設備は, 電源車 (緊急時対策所用) (発電機) の付属機器である。

*2: 電源車 (緊急時対策所用) (発電機) 1 個当たりの個数を示す。

ロ. 調速装置及び非常調速装置

		変 更 前	変 更 後	
名 称		—	電源車 (緊急時対策所用) (調速装置) *	電源車 (緊急時対策所用) (非常調速装置) *
種 類	—		電気式	電気式

注記* : 本設備は、電源車（緊急時対策所用）（発電機）の付属機器である。

ハ. 内燃機関に附属する冷却水設備（可搬型）

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	電源車（緊急時対策所用） （冷却水ポンプ）*1
種 類	—			うず巻式
容 量	m ³ /h/個			<input type="text"/>
個 数	—			1*2
取 付 箇 所	—			電源車（緊急時対策所用）

注記*1：本設備は，電源車（緊急時対策所用）（発電機）の附属機器である。

*2：電源車（緊急時対策所用）（発電機）1個当たりの個数を示す。

ホ. 燃料デイトンク又はサービスタンク（可搬型）

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	電源車（緊急時対策所用） （燃料タンク）*1
種 類	—	角形		
容 量	L/個	200 以上（250*2）		
最高使用圧力*4	MPa	大気圧		
最高使用温度*4	℃	60		
主 要 寸 法	た て	mm		535*2
	横	mm		1268*2
	高 さ	mm		395*2
材 料	—	A5052P-H34		
個 数	—	1*3		
取 付 箇 所	—	電源車（緊急時対策所用）		

注記*1：本設備は、電源車（緊急時対策所用）（発電機）の付属機器である。

*2：公称値を示す。

*3：電源車（緊急時対策所用）（発電機）1個当たりの個数を示す。

*4：重大事故等時の使用時の値。

(4) 燃料設備
口 容器 (常設)

			変更前	変 更 後
名 称				緊急時対策所軽油タンク
種 類	—			たて置円筒形
容 量	m ³ /個			<input type="text"/> 以上(10 * ¹)
最 高 使 用 圧 力	MPa			静水頭 * ²
最 高 使 用 温 度	℃			50 * ²
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		2200 * ¹
	胴 板 厚 さ	mm		<input type="text"/> (9.0 * ¹)
	鏡 板 厚 さ	mm		<input type="text"/> (9.0 * ¹)
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm		2200 * ¹ (鏡板の内面における長径)
				550 * ¹ (鏡板の内面における短径の2分の1)
	平 板 厚 さ	mm		12.0(12.0 * ¹)
	管 台 外 径 (液 出 口)	mm		60.5 * ¹
	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm		<input type="text"/> (5.5 * ¹)
	高 さ	mm		3041 * ¹
材 料	胴 板	—		SM400C
	鏡 板	—		SM400C
	平 板	—		SM400C
個 数	—			2 (予備 1)
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		緊急時対策所軽油タンク 緊急時対策所ディーゼル発電設備
	設 置 床	—		緊急時対策建屋 O.P. 62.20m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*1 : 公称値を示す。

*2 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ニ 主配管（常設）

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
緊急時対策所ディーゼル発電設備	—	—				緊急時対策所ディーゼル発電設備 緊急時対策所軽油タンク ～ 給油口	0.05	50	60.5	(5.5)	STS410
									34.0	(4.5)	STS410

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

ニ 主配管 (可搬型)

変更前								変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	
緊急時対策所ディーゼル発電設備			—					緊急時対策所ディーゼル発電設備	給油用ホース (20A:7m)	1.0*1	80*1	30.0*2	—*3	補強層入り多層ゴム	1	保管場所： 電源車 (緊急時対策所用) 取付箇所： 電源車 (緊急時対策所用)

注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。

*2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

*3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものとする。

ロ 励磁装置（可搬型）

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	電源車（緊急時対策所用） （励磁装置） ^{*1}
種 類	—	ブラシレス励磁方式		
容 量	kW/個	13		
個 数	—	1 ^{*2}		
取 付 箇 所	—	電源車（緊急時対策所用）		

注記*1：本設備は，電源車（緊急時対策所用）（発電機）の付属機器である。

*2：電源車（緊急時対策所用）（発電機）1個当たりの個数を示す。

ハ 保護継電装置

		変 更 前	変 更 後
名 称		—	電源車（緊急時対策所用） （保護継電装置）*
種 類	—		不足電圧／過電圧継電器 過電流継電器 地絡過電圧継電器 逆電力継電器

注記*：本設備は，電源車（緊急時対策所用）（発電機）の付属機器である。

ニ 原動機との連結方法

		変 更 前	変 更 後
連 結 方 法	—	—	直結

8.1.2.7 可搬型窒素ガス供給装置発電設備

(2) 内燃機関

イ 機関（可搬型）

			変更前	変更後	
名 称			—	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 (内燃機関) ^{*1}	
機	種 類	—		4サイクルたて形6気筒ディーゼル機関	
	出 力	kW/個		178	
	回 転 速 度	min ⁻¹		1500	
関	燃 料	種 類		—	軽油
		使 用 量		ℓ/h/個	<input type="text"/>
	個 数	—		1 ^{*2}	
	取 付 箇 所	—		可搬型窒素ガス供給装置	

注記*1：本設備は可搬型窒素ガス供給装置の付属機器である。

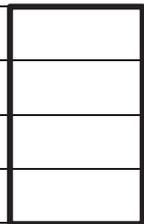
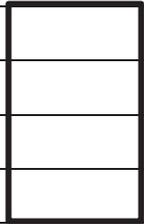
*2：可搬型窒素ガス供給装置1個当たりの個数を示す。

ロ 調速装置及び非常調速装置

			変更前	変 更 後	
名 称		—	—	可搬型窒素ガス供給装置 発電設備(調速装置)*	可搬型窒素ガス供給装置 発電設備(非常調速装置)*
種 類	—			機械式	機械式

注記* : 本設備は可搬型窒素ガス供給装置の付属機器である。

ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク（可搬型）

			変更前	変 更 後			
名 称			—	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 (燃料タンク)* ¹			
種 類	—			角形			
容 量	L/個						
最高使用圧力* ³	MPa			静水頭			
最高使用温度* ³	℃			40			
主要寸法	た て	mm			* ²		* ²
	横	mm			* ²		* ²
	高 さ	mm			* ²		* ²
材 料	—						
個 数	—			1* ⁴		2* ⁴	
取 付 箇 所	—		可搬型窒素ガス供給装置				

注記*¹ : 本設備は可搬型窒素ガス供給装置の付属機器である。

*² : 公称値を示す。

*³ : 重大事故等時における使用時の値。

*⁴ : 可搬型窒素ガス供給装置 1 個当たりの個数を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

ロ 容器（常設）

	変更前	変 更 後
名 称	—	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 ロ 容器（常設） に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型窒素ガス供給装置発電設備）として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器 (常設) に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備) であり、非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型窒素ガス供給装置発電設備) として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	ガスタービン発電設備軽油タンク*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.3 ガスタービン発電設備 (4) 燃料設備 □ 容器 (常設) に記載する。		

注記* : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置 (ガスタービン発電設備) であり、非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型窒素ガス供給装置発電設備) として本工事計画で兼用とする。

ロ 容器（可搬型）

	変更前	変更後
名称	—	タンクローリ*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (2) 容器（可搬型） に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型窒素ガス供給装置発電設備）として本工事計画で兼用とする。

ニ 主配管（常設）

名 称	変 更 前	変 更 後
*1 非常用ディーゼル発電設備 軽油タンク ～ 燃料移送ポンプ入口配管分岐点	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 ニ 主配管（常設） に記載する。
*2 燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ～ 非常用ディーゼル発電設備 軽油タンク払出口	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。
*3 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク ～ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 (4) 燃料設備 ニ 主配管（常設） に記載する。
*2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ～ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。
*4 ガスタービン発電設備軽油タンク ～ ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.1 非常用電源設備 8.1.2 非常用発電装置 8.1.2.3 ガスタービン発電設備 (4) 燃料設備 ニ 主配管（常設） に記載する。
*2 ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点 ～ ガスタービン発電設備軽油タンク払出口	—	8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（常設） に記載する。

注記*1：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型窒素ガス供給装置発電設備）として本工事計画で兼用とする。

*2：本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型窒素ガス供給装置発電設備）として本工事計画で兼用とする。

*3：本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置（高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備）として本工事計画で兼用とする。

備)であり、非常用電源設備の非常用発電装置(可搬型窒素ガス供給装置発電設備)として本工事計画で兼用とする。

- *4 : 本設備は、非常用電源設備の非常用発電装置(ガスタービン発電設備)であり、非常用電源設備の非常用発電装置(可搬型窒素ガス供給装置発電設備)として本工事計画で兼用とする。

ニ 主配管（可搬型）

	変更前	変 更 後
名 称	—	軽油払出用ホース(外径 63mm:2m) *
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管（可搬型） に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型窒素ガス供給装置発電設備）として本工事計画で兼用とする。

	変更前	変 更 後
名 称	—	給油用ホース(φ25:50m)*
8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (4) 主配管(可搬型) に記載する。		

注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置(可搬型窒素ガス供給装置発電設備)として本工事計画で兼用とする。

(5) 発電機
イ 発電機（可搬型）

			変更前	変更後
名称			—	可搬型窒素ガス供給装置 発電設備（発電機）*1
種類	—			同期発電機
容量	kVA/個			200
主要寸法	たて	mm		 *2
	横	mm		 *2
	高さ	mm		 *2
力率	%			80（遅れ）
電圧	V			440
相	—			3
周波数	Hz			50
回転速度	min ⁻¹			1500
結線法	—			星形
冷却方法	—			空気冷却
個数	—		1（予備1）	
取付箇所	—		可搬型窒素ガス供給装置	

注記*1：本設備は可搬型窒素ガス供給装置の付属機器である。

*2：公称値を示す。

ロ 励磁装置（可搬型）

		変 更 前	変 更 後
名	称	—	可搬型窒素ガス供給装置 発電設備（励磁装置）*1
種	類	—	ブラシレス方式
容	量	kVA/個	<input type="text"/>
個	数	—	1*2
取	付 箇 所	—	可搬型窒素ガス供給装置 発電設備

注記*1：本設備は可搬型窒素ガス供給装置発電設備（発電機）の付属機器である。

*2：可搬型窒素ガス供給装置発電設備（発電機）1個当たりの個数を示す。

ハ 保護継電装置

		変 更 前	変 更 後
名 称		—	可搬型窒素ガス供給装置 発電設備（保護継電装置）*
種 類	—		過電流継電器
			漏電継電器

注記* : 本設備は可搬型窒素ガス供給装置発電設備（発電機）の付属機器である。

ニ 原動機との連結方法

		変 更 前	変 更 後
連 結 方 法	—	—	直結

8.1.3 その他の電源装置
 8.1.3.1 無停電電源装置
 (1) 無停電電源装置 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名	称		無停電交流電源用静止形無停電電源装置*1	
種	類	—	静止形定電圧定周波数電源装置	
容	量	kVA/個	50	
電 圧	入	力	V	交流 440 直流 125
	出	力	V	交流 120
周 波 数	入	力	Hz	50及び直流
	出	力	Hz	50
主 要 寸 法	た	て	mm	□*1, *2
	横		mm	□*1, *2
	高	さ	mm	□*1, *2
個	数	—	2	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	無停電交流電源用静止形無停電電源装置2A*1	無停電交流電源用静止形無停電電源装置2B*1
	設 置 床	—	*1 制御建屋 O.P. 8.00m	
	溢水防護上の区画番号	—	—	C-B1F-3
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	床上 0.00m以上
				変更なし
				変更なし

注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「相」の記載を削除。

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

*3：無停電交流電源用静止形無停電電源装置については、取替を実施する。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

8.1.3.2 電力貯蔵装置
(2) 電力貯蔵装置 (常設)

			変更前			変更後		
名称			125V蓄電池*1			変更なし		
			2A	2B	2H	2A	2B	2H
種類	—		密閉形クラッド式据置鉛蓄電池		密閉形クラッド式据置鉛蓄電池	制御弁式据置鉛蓄電池		
容量	Ah/組*2		4000 (10時間率)		400 (10時間率)	8000 (10時間率)	6000 (10時間率)	
電圧	V		125		125	変更なし		
主要寸法	たて	mm	□*1, *3		□*1, *3	□*3	□*3	
	横	mm	□*1, *3		□*1, *3	□*3	□*3	
	高さ	mm	□*1, *3		□*1, *3	□*3	□*3	
個数	組*4		2(1組当たり60個)*5		1(1組当たり60個)*6	1(1組当たり180個)	1(1組当たり120個)	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	125V蓄電池2A*1	125V蓄電池2B*1	125V蓄電池2H*1	変更なし		
	設置床	—	制御建屋 O.P. 8.00m O.P. 11.40m	制御建屋 O.P. 8.00m	原子炉建屋 O.P. 20.90m	制御建屋 O.P. 1.50m O.P. 8.00m O.P. 11.40m	変更なし	
	溢水防護上の区画番号	—	—			C-B2F-5 C-B1F-2 C-MB1F-1	C-B1F-4	R-M2F-8
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			床上 0.00m以上	床上 0.00m以上	床上 0.00m以上

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Ah/個」と記載。

*3 : 公称値を示す。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2」と記載。

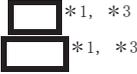
*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1」と記載。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	125V 代替蓄電池
種 類	—			制御弁式据置鉛蓄電池
容 量	Ah/組			2000 (10 時間率)
電 圧	V			125
主要寸法	た て	mm		 *1
	横	mm		 *1
	高 さ	mm		 *1
個 数	組			1 (1 組当たり 60 個)
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		125V 代替蓄電池
	設 置 床	—		制御建屋 O. P. 19. 50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		C-2F-7
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		床上 0. 00m 以上

注記*1 : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

			変 更 前	変 更 後
名 称			250V 蓄電池*1	変更なし
種 類	—		密閉形クラッド式据置鉛蓄電池	制御弁式据置鉛蓄電池
容 量	Ah/組*2		4500 (10 時間率)	6000 (10 時間率)
電 圧	V		250	変更なし
主要寸法	た て	mm	 *1, *3	 *3
	横	mm	 *1, *3	 *3
	高 さ	mm	 *1, *3	 *3
個 数	組*4		1 (1 組当たり 120 個) *5	1 (1 組当たり 232 個)
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	250V 蓄電池*1	変更なし
	設 置 床	—	制御建屋 O. P. 1. 50m	変更なし
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	C-B2F-3
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	床上 0. 00m 以上

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Ah/個」と記載。

*3 : 公称値を示す。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1」と記載。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(2) 電力貯蔵装置(可搬型)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	主蒸気逃がし安全弁用 可搬型蓄電池
種 類	—	小型制御弁式 鉛蓄電池		
容 量	Ah/組	24(20 時間率)		
電 圧	V	120V		
主 要 寸 法	た て	mm		□*1
	横	mm		□*1
	高 さ	mm		□*1
個 数		組		1 (予備 1) (1 組当たり 10 個)
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—		主蒸気逃がし安全弁用 可搬型蓄電池
	設 置 床	—		保管場所： 制御建屋地上 2 階 (O. P. 19500) 取付箇所 制御建屋地上 2 階 (O. P. 19500)
	溢水防護上の 区 画 番 号	—		C-2F-6
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		床上 0.00m 以上

注記 *1 : 公称値を示す。

8.1.4 非常用電源設備の基本設計方針，適用基準及び適用規格

(1) 基本設計方針

変更前	変更後
<p>用語の定義は「発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令」，「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>	<p>用語の定義は「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>
<p>第1章 共通項目</p> <p>非常用電源設備の共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象，3. 火災，4. 設備に対する要求（4.6 逆止め弁を除く。），5. その他（5.4 放射性物質による汚染の防止を除く。）」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>非常用電源設備の共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象，3. 火災，4. 溢水等，5. 設備に対する要求（5.6 逆止め弁を除く。），6. その他（6.4 放射性物質による汚染の防止を除く。）」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.1 非常用電源系統</p> <p>非常用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は，多重性を持たせ，3系統の母線で構成し，工学的安全施設に係る高圧補機と発電所の保安に必要な高圧補機へ給電する設計とする。また，動力変圧器を通して降圧し，非常用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。非常用低圧母線も同様に多重性を持たせ3</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.1 非常用電源系統</p> <p>重要安全施設に給電する系統においては，多重性を有し，系統分離が可能である母線で構成し，信頼性の高い機器を設置する。</p> <p>非常用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は，多重性を持たせ，3系統の母線で構成し，工学的安全施設に係る高圧補機と発電所の保安に必要な高圧補機へ給電する設計とする。また，動力変圧器を通して降圧し，非常用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。非常用低圧母線も同様に多重性を持たせ3</p>

変更前	変更後
<p>系統の母線で構成し、工学的安全施設に関する低圧補機と発電所の保安に必要な低圧補機へ給電する設計とする。</p> <p>また、高圧及び低圧母線等で故障が発生した際は、遮断器により故障箇所を隔離できる設計とし、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全施設への影響を限定できる設計とする。</p> <p>これらの母線は、独立性を確保し、それぞれ区画分離された部屋に配置する設計とする。</p> <p>原子炉保護系並びに工学的安全施設に関する多重性をもつ動力回路に使用するケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用し、多重化したそれぞれのケーブルについて相互に物理的分離を図る設計とするとともに制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。</p>	<p>系統の母線で構成し、工学的安全施設に関する低圧補機と発電所の保安に必要な低圧補機へ給電する設計とする。</p> <p>また、高圧及び低圧母線等で故障が発生した際は、遮断器により故障箇所を隔離できる設計とし、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全施設への影響を限定できる設計とする。</p> <p>更に、非常用所内電源系からの受電時の母線切替操作が容易な設計とする。</p> <p>重要安全施設への電力供給に係る電気盤及び当該電気盤に影響を与えるおそれのある電気盤（安全施設（重要安全施設を除く。）への電力供給に係るものに限る。）について、遮断器の遮断時間の適切な設計により、高エネルギーのアーク放電によるこれらの電気盤の損壊の拡大を防止することができる設計とする。</p> <p>これらの母線は、独立性を確保し、それぞれ区画分離された部屋に配置する設計とする。</p> <p>原子炉保護系並びに工学的安全施設に関する多重性をもつ動力回路に使用するケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用し、多重化したそれぞれのケーブルについて相互に物理的分離を図る設計とするとともに制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。</p> <p>1.2 代替所内電気系統</p> <p>1.2.1 系統構成</p> <p>非常用所内電気設備は、3系統の非常用母線等（メタルクラッドスイッチギア（非常用）（6900V，1200Aのものを2個）、メタルクラッドスイッチギア（高圧炉心スプレイ系用）（6900V，1200Aのも</p>

変更前	変更後
	<p>のを1個), パワーセンタ(非常用)(600V, 5000Aのものを2個), モータコントロールセンタ(非常用)(600V, 800Aのものを14個), モータコントロールセンタ(高圧炉心スプレイ系用)(600V, 800Aのものを1個), 動力変圧器(非常用)(3300kVA, 6750/460Vのものを2個), 動力変圧器(高圧炉心スプレイ系用)(750kVA, 6900/460Vのものを1個), 460V原子炉建屋交流電源切替盤(非常用)(600V, 30Aのものを2個)及び中央制御室120V交流分電盤(非常用)(75kVA, 460/120Vのものを4個))により構成することにより, 共通要因で機能を失うことなく, 3系統のうち少なくとも2系統は電力供給機能の維持及び人の接近性の確保を図る設計とする。</p> <p>これとは別に上記3系統の非常用母線等の機能が喪失したことにより発生する重大事故等の対応に必要な設備に電力を給電する代替所内電気設備として, ガスタービン発電機接続盤(7200V, 1200Aのものを2個), メタルクラッドスイッチギア(緊急用)(7200V, 1200Aのものを3個), 動力変圧器(緊急用)(500kVA, 6900/460Vのものを2個, 750kVA, 6750/460Vのものを1個), パワーセンタ(緊急用)(600V, 3000Aのものを1個), モータコントロールセンタ(緊急用)(600V, 800Aのものを4個), ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ接続盤(600V, 100Aのものを1個), 460V原子炉建屋交流電源切替盤(緊急用)(600V, 150Aのものを1個), 460V原子炉建屋交流電源切替盤(非常用)(600V, 30Aのものを2個), メタルクラッドスイッチギア(非常用)(6900V, 1200Aのものを2個), 120V原子炉建屋交流電源切替盤(緊急用)(120V, 30Aのものを1個)及び中央制御室120V交流分電盤(緊急用)(20kVA, 460/120V</p>

変更前	変更後
	<p>のものを1個)を使用できる設計とする。</p> <p>代替所内電気設備は、上記に加え、電路、計測制御装置等で構成し、常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備の電路として使用し電力を供給できる設計とする。また、代替所内電気設備は、人の接近性を考慮した設計とする。</p> <p>1.2.2 多様性, 位置的分散等</p> <p>代替所内電気設備のガスタービン発電機接続盤及びメタルクラッドスイッチギア(緊急用)は、緊急用電気品建屋(地下階)に設置することで、非常用所内電気設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>代替所内電気設備のメタルクラッドスイッチギア(緊急用)、動力変圧器(緊急用)、パワーセンタ(緊急用)、モータコントロールセンタ(緊急用)、460V原子炉建屋交流電源切替盤(緊急用)及び460V原子炉建屋交流電源切替盤(非常用)は、非常用所内電気設備と異なる区画に設置することで、非常用所内電気設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>代替所内電気設備は、独立した電路で系統構成することにより、非常用所内電気設備に対して、独立性を有する設計とする。</p> <p>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、代替所内電気設備は非常用所内電気設備に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>重大事故等対処施設の動力回路に使用するケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用し、非常用電源系統に接続するか、非常</p>

変更前	変更後
	用電源系統と独立した代替所内電気系統へ接続する設計とする。
<p>2. 交流電源設備</p> <p>2.1 非常用交流電源設備</p> <p>2.1.1 系統構成</p> <p>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設には、電線路及び当該発電用原子炉施設において常時使用される発電機からの電力の供給が停止した場合において発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置の機能を維持するため、内燃機関を原動力とする非常用電源設備を設ける設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置(非常用電源設備及びその燃料補給設備、使用済燃料プールへの補給設備、原子炉格納容器内の圧力、温度、酸素・水素濃度、放射性物質の濃度及び線量当量率の監視設備並びに中央制御室外からの原子炉停止設備)は、内燃機関を原動力とする非常用電源設備の非常用ディーゼル発電機(高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)からの電源供給が可能な設計とする。</p> <p>非常用電源設備及びその附属設備は、多重性又は多様性を確保し、及び独立性を確保し、その系統を構成する機械又は器具の単一故障が発生した場合であっても、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において、工学的安全施設及び設計基準事故に対処す</p>	<p>2. 交流電源設備</p> <p>2.1 非常用交流電源設備</p> <p>2.1.1 系統構成</p> <p>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設には、電線路及び当該発電用原子炉施設において常時使用される発電機からの電力の供給が停止した場合において発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置の機能を維持するため、内燃機関を原動力とする非常用電源設備を設ける設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置(非常用電源設備及びその燃料補給設備、使用済燃料プールへの補給設備、原子炉格納容器内の圧力、温度、酸素・水素濃度、放射性物質の濃度及び線量当量率の監視設備並びに中央制御室外からの原子炉停止設備)は、内燃機関を原動力とする非常用電源設備の非常用ディーゼル発電機(高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)からの電源供給が可能な設計とする。</p> <p>非常用電源設備及びその附属設備は、多重性又は多様性を確保し、及び独立性を確保し、その系統を構成する機械又は器具の単一故障が発生した場合であっても、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において、工学的安全施設及び設計基準事故に対処す</p>

変更前	変更後
<p>るための設備がその機能を確保するために十分な容量を有する設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電機(高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)は、非常用高压母線低電圧信号又は非常用炉心冷却設備作動信号で起動し、設置(変更)許可を受けた冷却材喪失事故における工学的安全施設の設備の作動開始時間を満足する時間として非常用ディーゼル発電機は10秒及び高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機は13秒以内に電圧を確立した後は、各非常用高压母線に接続し、負荷に給電する設計とする。</p> <p>設計基準事故時において、発電用原子炉施設に属する非常用所内電源設備及びその附属設備は、発電用原子炉ごとに単独で設置し、他の発電用原子炉施設と共用しない設計とする。</p>	<p>るための設備がその機能を確保するために十分な容量を有する設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電機(高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。)は、非常用高压母線低電圧信号又は非常用炉心冷却設備作動信号で起動し、設置(変更)許可を受けた冷却材喪失事故における工学的安全施設の設備の作動開始時間を満足する時間として非常用ディーゼル発電機は10秒及び高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機は13秒以内に電圧を確立した後は、各非常用高压母線に接続し、負荷に給電する設計とする。</p> <p>設計基準事故時において、発電用原子炉施設に属する非常用所内電源設備及びその附属設備は、発電用原子炉ごとに単独で設置し、他の発電用原子炉施設と共用しない設計とする。</p> <p>非常用交流電源設備は、想定される重大事故等時において、重大事故等対処設備(設計基準拡張)として使用できる設計とする。</p> <p>非常用交流電源設備のうち非常用ディーゼル発電機は重大事故等時に、ATWS緩和設備(代替制御棒挿入機能)、ATWS緩和設備(代替原子炉再循環ポンプトリップ機能)、ATWS緩和設備(自動減圧系作動阻止機能)、ほう酸水注入系、代替自動減圧回路(代替自動減圧機能)、高压窒素ガス供給系(非常用)、低压代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)、低压代替注水系(可搬型)、残留熱除去系(低压注水モード)、低压炉心スプレイ系、残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)、原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設)、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)、残留熱除去系(格納容器スプレ</p>

変更前	変更後
	<p>イ冷却モード), 残留熱除去系 (サブプレッションプール水冷却モード), 代替循環冷却系, 原子炉格納容器下部注水系 (常設) (復水移送ポンプ), 原子炉格納容器下部注水系 (常設) (代替循環冷却ポンプ), 原子炉格納容器下部注水系 (可搬型), 計測制御装置及び非常用ガス処理系へ電力を供給できる設計とする。</p> <p>非常用交流電源設備のうち高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機は重大事故等時に, 高圧炉心スプレイ系及び計測制御装置へ電力を供給できる設計とする。</p> <p>2.1.2 多様性, 位置的分散等</p> <p>非常用交流電源設備は, 設計基準事故対処設備であるとともに, 重大事故等時においても使用するため, 重大事故等対処設備としての基本方針に示す設計方針を適用する。ただし, 多様性及び独立性並びに位置的分散を考慮すべき対象の設計基準事故対処設備はないことから, 重大事故等対処設備の基本方針のうち, 「5.1.2 多様性, 位置的分散等」に示す設計方針は適用しない。</p> <p>2.2 常設代替交流電源設備</p> <p>2.2.1 系統構成</p> <p>設計基準事故対処設備の電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において, 炉心の著しい損傷, 原子炉格納容器の破損, 使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な交流負荷へ電力を供給する常設代替交流電源設備としてガスタービン発電機を</p>

変更前	変更後
	<p>設ける設計とする。</p> <p>常設代替交流電源設備は、ガスタービン発電機、ガスタービン発電設備軽油タンク、ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク、タンクローリ、電路、計測制御装置等で構成し、設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等時に対処するためにガスタービン発電機を外部電源喪失時に自動起動し、メタルクラッドスイッチギア（緊急用）を介してメタルクラッドスイッチギア（非常用）又はモータコントロールセンタ（緊急用）へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>2.2.2 多様性，位置的分散等</p> <p>常設代替交流電源設備は、非常用交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、ガスタービン発電機をガスタービンにより駆動することで、ディーゼルエンジンにより駆動する非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を用いる非常用交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>常設代替交流電源設備のガスタービン発電機は、原子炉建屋付属棟から離れた屋外（緊急用電気品建屋）に設置することで、原子炉建屋付属棟内の非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>常設代替交流電源設備は、ガスタービン発電機からメタルクラッ</p>

変更前	変更後
	<p>ドスイッチギア（非常用）までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機からメタルクラッドスイッチギア（非常用）までの系統及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機からメタルクラッドスイッチギア（高圧炉心スプレイ系用）までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</p> <p>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、常設代替交流電源設備は非常用交流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>2.3 可搬型代替交流電源設備</p> <p>2.3.1 系統構成</p> <p>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等が発生した場合において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な交流負荷へ電力を供給する可搬型代替交流電源設備として、電源車を使用できる設計とする。</p> <p>可搬型代替交流電源設備は、電源車、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク、ガスタービン発電設備軽油タンク、タンクローリ、電路、計測制御装置等で構成し、電源車を、メタルクラッドスイッチギア（緊急用）を経由してメタルクラッドスイッチギア（非常用）又はモータコントロールセンタ（緊急用）へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>2.3.2 多様性, 位置的分散等</p> <p>可搬型代替交流電源設備は, 非常用交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 電源車の冷却方式を空冷とすることで, 冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を用いる非常用交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。また, 可搬型代替交流電源設備は, 常設代替交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 電源車をディーゼルエンジンにより駆動することで, ガスタービンにより駆動するガスタービン発電機を用いる常設代替交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>可搬型代替交流電源設備の電源車は, 屋外の原子炉建屋付属棟から離れた場所に保管することで, 原子炉建屋付属棟内の非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機と共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 位置的分散を図る設計とする。また, 可搬型代替交流電源設備の電源車は, 屋外(緊急用電気品建屋)のガスタービン発電機から離れた場所に保管することで, 共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 位置的分散を図る設計とする。</p> <p>可搬型代替交流電源設備は, 電源車からメタルクラッドスイッチギア(非常用)までの系統において, 独立した電路で系統構成することにより, 非常用ディーゼル発電機からメタルクラッドスイッチギア(非常用)までの系統及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機からメタルクラッドスイッチギア(高圧炉心スプレイ系用)までの系統に対して, 独立性を有する設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、可搬型代替交流電源設備は非常用交流電源設備である非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>可搬型代替交流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</p> <p>2.4 緊急時対策所用代替交流電源設備</p> <p>緊急時対策所用代替交流電源設備である電源車(緊急時対策所用)は、メタルクラッドスイッチギア(緊急時対策所用)(7200V, 1200Aのものを2個)、動力変圧器(緊急時対策所用)(500kVA, 6900/460Vのものを2個)、モータコントロールセンタ(緊急時対策所用)(600V, 800Aのものを3個)、105V交流電源切替盤(緊急時対策所用)(460/210-105V, 225Aのものを1個)、105V交流分電盤(緊急時対策所用)(30kVA, 210-105Vのものを1個)、120V交流分電盤(緊急時対策所用)(10kVA, 460/120Vのものを2個)、210V交流分電盤(緊急時対策所用)(150kVA, 460/210Vのものを2個)、125V直流主母線盤(緊急時対策所用)(125V, 1800Aのものを3個)を經由して緊急時対策所非常用送風機、衛星電話設備(固定型)、無線連絡設備(固定型)、統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備(テレビ会議システム, IP電話及びIP-FAX)及び安全パラメータ表示システム(SPDS)へ給電できる設計とする。</p> <p>2.5 可搬型窒素ガス供給装置発電設備</p>

変更前	変更後
	<p>可搬型窒素ガス供給装置は、車両内に搭載された可搬型窒素ガス供給装置発電設備により給電できる設計とする。</p>
<p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>3.1.1 系統構成</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、直流電源設備を施設する設計とする。</p> <p>直流電源設備は、短時間の全交流動力電源喪失時においても、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、発電用原子炉の停止後に炉心を冷却するための設備が動作することができるよう、これらの設備の動作に必要な容量を有する 125V 蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>非常用の直流電源設備は、直流 125V 3 系統の蓄電池、充電器及び 125V 直流主母線盤等で構成する。</p> <p>これらの 3 系統のうち 1 系統が故障しても発電用原子炉の安全性は確保できる設計とする。また、これらの系統は、多重性及び独立性を確保することにより、共通要因により同時に機能が喪失することのない設計とする。直流母線は 125V であり、非常用直流電源設備 3 組の電源の負荷は、工学的安全施設等の制御装置、電磁弁、無停電交流母線に給電する無停電電源用静止形無停電電源装置等である。</p>	<p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>3.1.1 系統構成</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、直流電源設備を施設する設計とする。</p> <p>直流電源設備は、全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの約 15 分を包絡した約 8 時間に対し、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、発電用原子炉の停止後に炉心を冷却するための設備が動作するとともに、原子炉格納容器の健全性を確保するための設備が動作することができるよう、これらの設備の動作に必要な容量を有する 125V 蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>非常用の直流電源設備は、直流 125V 3 系統の蓄電池、充電器及び 125V 直流主母線盤等で構成する。</p> <p>これらの 3 系統のうち 1 系統が故障しても発電用原子炉の安全性は確保できる設計とする。また、これらの系統は、多重性及び独立性を確保することにより、共通要因により同時に機能が喪失することのない設計とする。直流母線は 125V であり、非常用直流電源設備 3 組の電源の負荷は、工学的安全施設等の制御装置、電磁弁、無停電交流母線に給電する無停電電源用静止形無停電電源装置等である。</p>

変更前	変更後
	<p>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等が発生した場合において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な直流負荷へ電力を供給する所内常設蓄電式直流電源設備として、125V 蓄電池 2A 及び 2B 並びに 125V 充電器 2A 及び 2B を使用できる設計とする。</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備は、125V 蓄電池 2A 及び 2B、125V 充電器 2A 及び 2B（125V、700A のものを 2 個）、電路、計測制御装置等で構成し、125V 蓄電池 2A 及び 2B は、125V 直流主母線盤 2A 及び 2B（125V、1800A のものを 2 個）、125V 直流主母線盤 2A-1 及び 2B-1（125V、1800A のものを 2 個）、125V 直流分電盤 2A-1、2A-2、2A-3、2B-1、2B-2、2B-3 及び 2B-4（125V、1200A のものを 7 個）、125V 直流電源切替盤 2A 及び 2B（125V、60A のものを 2 個）並びに 125V 直流 RCIC モータコントロールセンタ（125V、800A のものを 1 個）へ電力を給電できる設計とする。</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備の 125V 蓄電池 2A 及び 2B は、全交流動力電源喪失から 1 時間以内に中央制御室において不要な負荷の切り離しを行うこと、また全交流動力電源喪失から 8 時間後に中央制御室外において不要な負荷の切り離しを行うことで、全交流動力電源喪失から 24 時間にわたり、125V 蓄電池 2A 及び 2B から電力を供給できる設計とする。また、交流電源復旧後に、交流電源を 125V 充電器 2A 及び 2B を経由し 125V 直流主母線盤 2A 及び 2B へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>非常用直流電源設備の 125V 蓄電池 2A, 2B 及び 2H 並びに 125V 充電器 2A, 2B 及び 2H (125V, 700A のものを 2 個, 125V, 50A のものを 1 個) は, 想定される重大事故等時において, 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) として使用できる設計とする。</p> <p>非常用直流電源設備のうち, 125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H は, 125V 直流主母線盤 2H (125V, 1200A のものを 1 個) 及び 125V 直流分電盤 2H (125V, 1200A のものを 1 個) へ接続することで, 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の起動信号及び初期励磁並びにメタルクラッドスイッチギア (高圧炉心スプレイ系用) の制御回路等の高圧炉心スプレイ系の負荷に電力を供給できる設計とする。</p> <p>3.1.2 多様性, 位置的分散等</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備は, 原子炉建屋付属棟内の非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機と異なる制御建屋内に設置することで, 非常用交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 位置的分散を図る設計とする。</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備は, 125V 蓄電池 2A 及び 2B から 125V 直流主母線盤 2A 及び 2B までの系統において, 独立した電路で系統構成することにより, 非常用ディーゼル発電機の交流を直流に変換する電路を用いた 125V 直流主母線盤 2A 及び 2B までの系統に対して, 独立性を有する設計とする。</p> <p>これらの位置的分散及び電路の独立性によって, 所内常設蓄電式直流電源設備は非常用交流電源設備に対して独立性を有する設計</p>

変更前	変更後
	<p>とする。</p> <p>非常用直流電源設備は、設計基準事故対処設備であるとともに、重大事故等時においても使用するため、重大事故等対処設備としての基本方針に示す設計方針を適用する。ただし、多様性及び独立性並びに位置的分散を考慮すべき対象の設計基準事故対処設備はないことから、重大事故等対処設備の基本方針のうち「5.1.2 多様性、位置的分散等」に示す設計方針は適用しない。</p> <p>3.2 常設代替直流電源設備</p> <p>3.2.1 系統構成</p> <p>設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源が喪失した場合に、重大事故等が発生した場合において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な直流負荷へ電力を供給する常設代替直流電源設備として、125V 代替蓄電池を使用できる設計とする。また、設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合又は交流電源及び直流電源が喪失した場合は、常設代替直流電源設備として、250V 蓄電池を使用できる設計とする。</p> <p>常設代替直流電源設備は、125V 代替蓄電池、250V 蓄電池、電路、計測制御装置等で構成し、125V 代替蓄電池は、電力の供給開始から 8 時間後に中央制御室外において不要な負荷の切離しを行うこと、また 250V 蓄電池は、電力の供給開始から 1 時間後に中央制御室において不要な負荷の切離しを行うことで、電力の供給開始から</p>

変更前	変更後
	<p>24 時間にわたり、125V 代替蓄電池及び 250V 蓄電池から電力を供給できる設計とする。</p> <p>3.2.2 多様性，位置的分散等</p> <p>常設代替直流電源設備は，制御建屋内の非常用直流電源設備と異なる区画に設置することで，非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう，位置的分散を図る設計とする。</p> <p>常設代替直流電源設備は，125V 代替蓄電池から 125V 直流主母線盤 2A-1 及び 2B-1 までの系統並びに 250V 蓄電池から 250V 直流主母線盤までの系統において，独立した電路で系統構成することにより，非常用直流電源設備の 125V 蓄電池 2A，2B 及び 2H から 125V 直流主母線盤 2A，2B 及び 2H までの系統に対して，独立性を有する設計とする。</p> <p>これらの位置的分散及び電路の独立性によって，常設代替直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>3.3 可搬型代替直流電源設備</p> <p>3.3.1 系統構成</p> <p>設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源が喪失した場合に，重大事故等が発生した場合において，炉心の著しい損傷，原子炉格納容器の破損，使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な直流負荷へ電力を供給する可搬型代替直流電源設備として 125V 代替蓄電池，250V 蓄電池及び電源車を使用できる設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>可搬型代替直流電源設備は、125V 代替蓄電池、250V 蓄電池、電源車、125V 代替充電器（125V、700A のものを 1 個）、250V 充電器（250V、400A のものを 1 個）、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク、ガスタービン発電設備軽油タンク、タンクローリ、電路、計測制御装置等で構成し、125V 代替蓄電池は 125V 直流主母線盤 2A-1 及び 2B-1（125V、1800A のものを 2 個）並びに 125V 直流電源切替盤 2A 及び 2B（125V、60A のものを 2 個）へ、250V 蓄電池は 250V 直流主母線盤（250V、1800A のものを 1 個）へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>可搬型代替直流電源設備の 125V 代替蓄電池は、電力の供給開始から 8 時間後に中央制御室外において不要な負荷の切離しを行うこと、また 250V 蓄電池は、電力の供給開始から 1 時間後に中央制御室において不要な負荷の切離しを行い、125V 代替蓄電池及び 250V 蓄電池から電力を供給し、その後、電源車を代替所内電気設備、125V 代替充電器及び 250V 充電器を経由し 125V 直流主母線盤 2A-1 及び 2B-1 並びに 250V 直流主母線盤へ接続することで、電力を供給できる設計とする。</p> <p>可搬型代替直流電源設備は、電源車の運転を継続することで、設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源の喪失から 24 時間にわたり必要な負荷に電力の供給を行うことができる設計とする。</p> <p>3.3.2 多様性、位置的分散等</p> <p>可搬型代替直流電源設備は、非常用直流電源設備と共通要因によ</p>

変更前	変更後
	<p>って同時に機能を損なわないよう、電源車の冷却方式を空冷とすることで、冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機から給電する非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。また、125V 代替充電器及び250V 充電器により交流を直流に変換できることで、125V 蓄電池 2A、2B 及び 2H を用いる非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>可搬型代替直流電源設備の 125V 代替蓄電池、250V 蓄電池、125V 代替充電器及び 250V 充電器は、制御建屋内の 125V 蓄電池 2A 及び 2B、125V 充電器 2A 及び 2B 並びに原子炉建屋付属棟内の 125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H と異なる区画又は建屋に設置することで、非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>可搬型代替直流電源設備の電源車は、屋外の原子炉建屋付属棟から離れた場所に保管することで、原子炉建屋付属棟内の非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>可搬型代替直流電源設備は、125V 代替蓄電池及び電源車から 125V 直流主母線盤 2A-1 及び 2B-1 までの系統並びに 250V 蓄電池及び電源車から 250V 直流主母線盤までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用直流電源設備の 125V 蓄電池 2A、2B 及び 2H から 125V 直流主母線盤 2A、2B 及び 2H までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</p>

変更前	変更後
<p>3.2 計測制御用電源設備</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、計測制御用電源設備として、無停電交流電源用静止形無停電電源装置を施設する設計とする。</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、無停電交流 120V 2 母線及び計測母線 120V 2 母線で構成する。</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、非常用低圧母線と非常用直流母線に接続する無停電交流電源用静止形無停電電源装置から給電し、核計装の監視による発電用原子炉の安全停止状態及び未臨界の維持状態の確認</p>	<p>これらの多様性及び位置的分散並びに回路の独立性によって、可搬型代替直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>可搬型代替直流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</p> <p>3.4 主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池</p> <p>原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備のうち、主蒸気逃がし安全弁の機能回復のための重大事故等対処設備として、主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池は、主蒸気逃がし安全弁の作動に必要な常設直流電源系統が喪失した場合においても、主蒸気逃がし安全弁の作動回路に接続することにより、主蒸気逃がし安全弁（2 個）を一定期間にわたり連続して開状態を保持できる設計とする。</p> <p>3.5 計測制御用電源設備</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、計測制御用電源設備として、無停電交流電源用静止形無停電電源装置を施設する設計とする。</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、無停電交流 120V 2 母線及び計測母線 120V 2 母線で構成する。</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、非常用低圧母線と非常用直流母線に接続する無停電交流電源用静止形無停電電源装置から給電し、核計装の監視による発電用原子炉の安全停止状態及び未臨界の維持状態の確認</p>

変更前	変更後
<p>が可能な設計とする。</p> <p>無停電交流電源用静止形無停電電源装置は、直流電源設備である 125V 蓄電池から直流電源が供給されることにより、無停電交流母線に対し電源供給を確保する設計とする。</p>	<p>が可能な設計とする。</p> <p>無停電交流電源用静止形無停電電源装置は、外部電源喪失及び全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの間においても、非常用直流電源設備である 125V 蓄電池から直流電源が供給されることにより、無停電交流母線に対し電源供給を確保する設計とする。</p>
<p>4. 燃料設備</p> <p>4.1 非常用交流電源設備の燃料補給設備</p> <p>7 日間の外部電源喪失を仮定しても、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故に対処するために必要な非常用ディーゼル発電機 1 台及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 1 台を 7 日間運転することにより必要とする電力を供給できる容量以上の燃料を敷地内の軽油タンクに貯蔵する設計とする。</p>	<p>4. 燃料設備</p> <p>4.1 非常用交流電源設備の燃料補給設備</p> <p>7 日間の外部電源喪失を仮定しても、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故に対処するために必要な非常用ディーゼル発電機 1 台及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 1 台を 7 日間運転することにより必要とする電力を供給できる容量以上の燃料を敷地内の軽油タンクに貯蔵する設計とする。</p> <p>重大事故等時に、非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の燃料は、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク及び燃料移送ポンプを用いて給油できる設計とする。</p> <p>4.2 常設代替交流電源設備の燃料補給設備</p> <p>ガスタービン発電機は、ガスタービン発電設備軽油タンクからガスタービン発電設備燃料移送ポンプを用いて燃料を補給できる設計とする。また、ガスタービン発電設備軽油タンクは、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクか</p>

変更前	変更後
	<p>らタンクローリを用いて燃料を補給できる設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクからタンクローリへの軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。</p> <p>燃料補給設備のガスタービン発電設備軽油タンク、ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ及びタンクローリは、原子炉建屋付属棟から離れた屋外に設置又は分散して保管することで、原子炉建屋付属棟内の燃料デイトンク並びに原子炉建屋付属棟近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。なお、予備のタンクローリについては、上記タンクローリと異なる場所に保管する設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク並びにガスタービン発電設備軽油タンクは、屋外に分散して設置することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>4.3 可搬型代替交流電源設備及び可搬型代替直流電源設備の燃料補給設備</p> <p>電源車は、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリを用いて燃料を補給できる設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリへの軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>燃料補給設備のガスタービン発電設備軽油タンク及びタンクローリは、屋外の原子炉建屋付属棟から離れた場所に設置又は保管することで、原子炉建屋付属棟内の燃料デイトンク並びに原子炉建屋付属棟近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。また、タンクローリは、屋外のガスタービン発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備燃料移送ポンプから離れた場所に保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。なお、予備のタンクローリについては、上記タンクローリと異なる場所に保管する設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク並びにガスタービン発電設備軽油タンクは、屋外に分散して設置することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>4.4 緊急時対策所用代替交流電源設備の燃料補給設備</p> <p>電源車（緊急時対策所用）使用時には電源車（緊急時対策所用）1台が必要負荷に対して7日間（168時間）以上連続運転が可能な容量を有する緊急時対策所軽油タンクへ接続するため、プルーム通過時において、燃料を補給せずに運転できる設計とする。</p> <p>4.5 可搬型窒素ガス供給装置発電設備の燃料補給設備</p> <p>可搬型窒素ガス供給装置発電設備は、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリを用いて燃料を補給</p>

変更前	変更後
	できる設計とする。
5. 主要対象設備 非常用電源設備の対象となる主要な設備については、「表 1 非常用電源設備の主要設備リスト」に示す。	5. 主要対象設備 非常用電源設備の対象となる主要な設備については、「表 1 非常用電源設備の主要設備リスト」に示す。

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(1/11)

設備区分	系統名称	機器区分	変更前					変更後						
			名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)			
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		
常用電源設備との切換方法	-	-	常用電源設備との切換方法(非常用ディーゼル発電設備)	-	-	-	変更なし ^(注2)					-		
			常用電源設備との切換方法(高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備)	-	-	-	変更なし ^(注2)					-		
			-	-	-	常用電源設備との切換方法(ガスタービン発電設備) ^(注3)	-	-	-	-				
			-	-	-	常用電源設備との切換方法(可搬型代替交流電源設備) ^(注3)	-	-	-	-				
			-	-	-	常用電源設備との切換方法(可搬型代替直流電源設備) ^(注3)	-	-	-	-				
			-	-	-	常用電源設備との切換方法(緊急時対策所ディーゼル発電設備) ^(注3)	-	-	-	-				
			-	-	-	常用電源設備との切換方法(可搬型窒素ガス供給装置発電設備) ^(注3)	-	-	-	-				
非常用発電装置	非常用ディーゼル発電設備	内燃機関	機関並びに過給機	非常用ディーゼル機関	S	火力技術基準	-	変更なし					常設/防止(DB 拡張) 常設/緩和(DB 拡張)	火力技術基準
			調速装置及び非常調速装置	調速装置	S	-	-	変更なし					常設/防止(DB 拡張) 常設/緩和(DB 拡張)	-
				非常調速装置	S	-	-	変更なし					常設/防止(DB 拡張) 常設/緩和(DB 拡張)	-
			内燃機関に附属する冷却水設備	機関付清水ポンプ	S	火力技術基準	-	変更なし					常設/防止(DB 拡張) 常設/緩和(DB 拡張)	火力技術基準

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(2/11)

設備区分	系統名称	機器区分		変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	非常用ディーゼル発電設備	内燃機関	空気だめ	空気だめ(自動)	S	クラス3	—	変更なし	—	—	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	SAクラス2	
				空気だめ(手動)	S	クラス3	—	変更なし	—	—			
			空気だめの安全弁	R43-F318A, B	S	—	—	変更なし	—	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	—		
				R43-F319A, B	S	—	—	変更なし	—	—			
			燃料デイトンク又はサービスタンク	燃料デイトンク	S	火力技術基準	—	変更なし	—	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	火力技術基準		
		燃料設備	ポンプ	—	—	—	—	燃料移送ポンプ	S	火力技術基準	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	火力技術基準	
			容器	—	—	—	—	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク	S	火力技術基準	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
			主配管	—	—	—	—	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク～燃料移送ポンプ入口配管分岐点	S	火力技術基準	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				—	—	—	—	燃料移送ポンプ入口配管分岐点～燃料移送ポンプ	S	火力技術基準	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				—	—	—	—	燃料移送ポンプ～燃料デイトンク	S	火力技術基準	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(3/11)

設備区分	系統名称	機器区分		変更前				変更後						
				名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
非常用発電装置	非常用ディーゼル発電設備	発電機	非常用ディーゼル発電機	S	—	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張) 常設/緩和(DB拡張)	—		
			励磁装置	S	—	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張) 常設/緩和(DB拡張)	—		
			保護継電装置	S	—	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張) 常設/緩和(DB拡張)	—		
			原動機との連結方法	原動機との連結方法(非常用ディーゼル発電設備設備)	—	—	—	—	変更なし ^(注2)	—	—	—	—	
	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	内燃機関	機関並びに過給機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル機関	S	火力技術基準	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張)	火力技術基準	
			調速装置及び非常調速装置	調速装置	S	—	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張)	—	
				非常調速装置	S	—	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張)	—	
			内燃機関に附属する冷却水設備	機関付清水ポンプ	S	火力技術基準	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張)	火力技術基準	
			内燃機関に附属する空気圧縮設備	空気だめ	空気だめ(自動)	S	クラス3	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張)	SAクラス2
					空気だめ(手動)	S	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
				空気だめの安全弁	R44-F318	S	—	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張)	—
			R44-F319	S	—	—	—	変更なし	—	—	—	—		
			燃料デイトンク又はサービスタンク	燃料デイトンク	S	火力技術基準	—	—	変更なし	—	—	常設/防止(DB拡張)	火力技術基準	

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(4/11)

設備区分	系統名称	機器区分		変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備	燃料設備	ポンプ	-				燃料移送ポンプ	S	火力技術基準	常設/防止(DB拡張)	火力技術基準	
			容器	-				高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備軽油タンク	S	火力技術基準	常設/防止(DB拡張)	火力技術基準	
			主配管	-				高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備軽油タンク～高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点	S	火力技術基準	常設/防止(DB拡張)	火力技術基準	
				-				高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点～燃料移送ポンプ	S	火力技術基準	常設/防止(DB拡張)	火力技術基準	
				-				燃料移送ポンプ～燃料デイトンク	S	火力技術基準	常設/防止(DB拡張)	火力技術基準	
		発電機	発電機	高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電機	S	-	-	変更なし		常設/防止(DB拡張)	-		
			励磁装置	励磁装置	S	-	-	変更なし		常設/防止(DB拡張)	-		
			保護継電装置	保護継電装置	S	-	-	変更なし		常設/防止(DB拡張)	-		
			原動機との連結方法	原動機との連結方法(高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備)	-	-	-	変更なし ^(注2)	-	-	-		
		ガスタービン発電設備	ガスタービン	ガスタービン	-				ガスタービン機関	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
	調速装置及び非常調速装置			-				調速装置	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	-	
				-				非常調速装置	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	-	
	燃料設備		ポンプ	-				ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
			容器	-				ガスタービン発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
-				ガスタービン発電設備燃料小出槽	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準					

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(5/11)

設備区分	系統名称	機器区分	変更前					変更後				
			名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	ガスタービン発電設備	容器	-	-	-	-	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
			-	-	-	-	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
			-	-	-	-	タンクローリ	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
		主配管	燃料設備	-	-	-	-	ガスタービン発電設備軽油タンク給油口～ガスタービン発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				-	-	-	-	ガスタービン発電設備軽油タンク～ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				-	-	-	-	ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点～ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				-	-	-	-	ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ～ガスタービン発電設備燃料小出槽	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				-	-	-	-	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク～燃料移送ポンプ入口配管分岐点	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				-	-	-	-	燃料移送ポンプ入口配管分岐点～非常用ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				-	-	-	-	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク～高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				-	-	-	-	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点～高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				-	-	-	-	軽油払出用ホース(外径63mm:2m)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(6/11)

設備区分	系統名称	機器区分		変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	ガスタービン発電設備	発電機	発電機	-	-	-	-	ガスタービン発電機	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	-	
			励磁装置	-	-	-	-	ガスタービン発電機励磁装置	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	-	
			保護継電装置	-	-	-	-	ガスタービン発電機保護継電装置	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	-	
			原動機との連結方法	-	-	-	-	原動機との連結方法(ガスタービン発電設備) ^(注3)	-	-	-	-	
	可搬型代替交流電源設備	内燃機関	機関並びに過給機	-	-	-	-	電源車(内燃機関)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	火力技術基準	
			調速装置及び非常調速装置	-	-	-	-	電源車(調速装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
				-	-	-	-	電源車(非常調速装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
			内燃機関に附属する冷却水設備	-	-	-	-	電源車(冷却水ポンプ)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
			燃料デイトンク又はサービスタンク	-	-	-	-	電源車(燃料タンク)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
	燃料設備	容器	-	-	-	-	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	ガスタービン発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	タンクローリ	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3		

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(7/11)

設備区分	系統名称	機器区分		変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	可搬型代替交流電源設備	燃料設備	主配管	-	-	-	-	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク～燃料移送ポンプ入口配管分岐点	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-	-	-	-	燃料移送ポンプ入口配管分岐点～非常用ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-	-	-	-	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク～高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-	-	-	-	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点～高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-	-	-	-	ガスタービン発電設備軽油タンク～ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-	-	-	-	ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点～ガスタービン発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-	-	-	-	軽油払出用ホース(外径63mm:2m)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
				-	-	-	-	給油用ホース(φ25:50m)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
		発電機	発電機	-	-	-	-	電源車(発電機)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
			励磁装置	-	-	-	-	電源車(励磁装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
			保護継電装置	-	-	-	-	電源車(保護継電装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
			原動機との連結方法	-	-	-	-	原動機との連結方法(可搬型代替交流電源設備) ^(注3)	-	-	-	-	
		可搬型代替直流電源設備	内燃機関	機関並びに過給機	-	-	-	-	電源車(内燃機関)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	火力技術基準
				調速装置及び非常調速装置	-	-	-	-	電源車(調速装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-
調速装置	-			-	-	-	電源車(非常調速装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-		

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(8/11)

設備区分	系統名称	機器区分		変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	可搬型代替直流電源設備	内燃機関	内燃機関に附属する冷却水設備	-				電源車(冷却水ポンプ)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
			燃料デイトンク又はサービスタンク	-				電源車(燃料タンク)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
		容器		-				非常用ディーゼル発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-				高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-				ガスタービン発電設備軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-				タンクローリ	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
		主配管		-				非常用ディーゼル発電設備軽油タンク～燃料移送ポンプ入口配管分岐点	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-				燃料移送ポンプ入口配管分岐点～非常用ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-				高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク～高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-				高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点～高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-				ガスタービン発電設備軽油タンク～ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-				ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点～ガスタービン発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				-				軽油払出用ホース(外径63mm:2m)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
			-				給油用ホース(φ25:50m)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3		

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(9/11)

設備区分	系統名称	機器区分		変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	可搬型代替直流電源設備	発電機	発電機	-	-	-	-	電源車(発電機)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
			励磁装置	-	-	-	-	電源車(励磁装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
			保護継電装置	-	-	-	-	電源車(保護継電装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
			原動機との連結方法	-	-	-	-	原動機との連結方法(可搬型代替直流電源設備)	-	-	-	-	
	緊急時対策所ディーゼル発電設備	内燃機関	機関並びに過給機	-	-	-	-	電源車(緊急時対策所用)(内燃機関)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	火力技術基準	
			調速装置及び非常調速装置	-	-	-	-	電源車(緊急時対策所用)(調速装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
				-	-	-	-	電源車(緊急時対策所用)(非常調速装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-	
			内燃機関に附属する冷却水設備	-	-	-	-	電源車(緊急時対策所用)(冷却水ポンプ)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
			燃料デイトンク又はサービスタンク	-	-	-	-	電源車(緊急時対策所用)(燃料タンク)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
	燃料設備	容器	-	-	-	-	緊急時対策所軽油タンク	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準		
		主配管	-	-	-	-	緊急時対策所軽油タンク～給油口	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	給油用ホース(20A:7m)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3		
	発電機	発電機	-	-	-	-	電源車(緊急時対策所用)(発電機)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-		
		励磁装置	-	-	-	-	電源車(緊急時対策所用)(励磁装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-		
		保護継電装置	-	-	-	-	電源車(緊急時対策所用)(保護継電装置)	-	-	可搬/防止 可搬/緩和	-		
		原動機との連結方法	-	-	-	-	原動機との連結方法(緊急時対策所ディーゼル発電設備)	-	-	-	-		

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(10/11)

設備区分	系統名称	機器区分		変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	可搬型窒素ガス供給装置発電設備	内燃機関	機関並びに過給機	-	-	-	-	可搬型窒素ガス供給装置発電設備(内燃機関)	-	-	可搬/緩和	火力技術基準	
			調速装置及び非常調速装置	-	-	-	-	可搬型窒素ガス供給装置発電設備(調速装置)	-	-	可搬/緩和	-	
				-	-	-	-	可搬型窒素ガス供給装置発電設備(非常調速装置)	-	-	可搬/緩和	-	
			燃料デイトンク又はサービスタンク	-	-	-	-	可搬型窒素ガス供給装置発電設備(燃料タンク)	-	-	可搬/緩和	SAクラス3	
		容器	-	-	-	-	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク	-	-	常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク	-	-	常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	ガスタービン発電設備軽油タンク	-	-	常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	タンクローリ	-	-	可搬/緩和	SAクラス3		
		主配管	-	-	-	-	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク～燃料移送ポンプ入口配管分岐点	-	-	常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	燃料移送ポンプ入口配管分岐点～非常用ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク～高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点	-	-	常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点～高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	ガスタービン発電設備軽油タンク～ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点	-	-	常設/緩和	火力技術基準		
			-	-	-	-	ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点～ガスタービン発電設備軽油タンク払出口	-	-	常設/緩和	火力技術基準		

表1 非常用電源設備の主要設備リスト(11/11)

設備区分	系統名称	機器区分		変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
					耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	可搬型窒素ガス供給装置	燃料設備	主配管	-				軽油払出用ホース(外径 63mm : 2m)	-	-	可搬/緩和	SA クラス 3	
				-				給油用ホース(φ 25 : 50m)	-	-	可搬/緩和	SA クラス 3	
	発電機	発電機	発電機	-				可搬型窒素ガス供給装置発電設備(発電機)	-	-	可搬/緩和	-	
			励磁装置	-				可搬型窒素ガス供給装置発電設備(励磁装置)	-	-	可搬/緩和	-	
			保護継電装置	-				可搬型窒素ガス供給装置発電設備(保護継電装置)	-	-	可搬/緩和	-	
			原動機との連結方法	-				原動機との連結方法(可搬型窒素ガス供給装置発電設備)	-	-	-	-	
その他の電源装置	無停電電源装置	無停電電源装置	-	無停電交流電源用静止形無停電電源装置	S	-	-	変更なし		-			
	電力貯蔵装置	電力貯蔵装置	-	125V 蓄電池 2A 及び 2B	S	-	-	変更なし		常設耐震/防止 常設/緩和	-		
			-	125V 蓄電池 2H	S	-	-	変更なし		常設/防止 (DB 拡張)	-		
			-	-	-	-	125V 代替蓄電池	-	-	常設耐震/防止 常設/緩和	-		
			-	-	-	-	250V 蓄電池	-	-	常設耐震/防止	-		
-	-	-	-	-	-	-	主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池	-	-	可搬/防止	-		

(注1) 表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「8 原子炉本体の基本設計方針、適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。

(注2) 設計基準対象施設及び重大事故等対処設備として使用する。

(注3) 重大事故等対処設備として使用する。

8.1.5 非常用電源設備に係る工事の方法

変更前	変更後
非常用電源設備に係る工事の方法は、「原子炉本体」における「9 原子炉本体に係る工事の方法」（「1.3 燃料体に係る工事の手順と使用前事業者検査」, 「2.1.3 燃料体に係る検査」及び「3.2 燃料体の加工に係る工事上の留意事項」を除く。）に従う。	変更なし

8.2 常用電源設備

8.2.1 発電機

(1) 発電機

			変更前	変更後		
名	称		発電機 ^{*1}			
種	類	—	横軸円筒回転界磁形耐爆構造式 三相交流同期発電機			
容	量	kVA	920000 (水素圧 412kPa ^{*2})			
力	率	% ^{*3}	90 ^{*4} (遅れ)			
電	圧	kV	17			
	相	—	3			
周	波	数	Hz			
			50			
回	転	速	度 ^{*5}	min ⁻¹ ^{*6}		
			1500			
結	線		法	—		
			四重星形			
冷	却	固	定	子	—	水直接及び水素間接冷却
		回	転	子	—	

注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「個数」の記載を削除。

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

*2：SI単位に換算したものである。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.9」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「rpm」と記載。

(2) 励磁装置

		変 更 前		変更後
名 称		発電機励磁装置*1		変更なし
種 類	—	サイリスタ励磁方式		
容 量	kW	2279		
回 転 速 度*2	min ⁻¹ *3	—		
駆 動 方 法	—	—		
個 数	常 用	—	1	
	予 備	—	なし	

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。

*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「rpm」と記載。

(3) 保護継電装置

		変 更 前	変 更 後
種 類 ^{*1}	自動遮断用 ^{*2}	発電機比率差動継電器	変更なし
		発電機・主変圧器比率差動継電器	
		距離継電器（過電流保護）	
		スラスト軸受摩耗検出装置	
		発電機逆電力継電器	
		発電機地絡継電器	
		発電機界磁喪失継電器	
		発電機・変圧器過励磁継電器	
		発電機逆相電流継電器	
		発電機脱調継電器	
		励磁電源変圧器比率差動継電器	
		励磁電源変圧器過電流継電器	
		発電機固定子冷却水喪失検出装置	
		発電機過電圧継電器 ^{*3}	
		発電機不足電圧継電器 ^{*3}	
	発電機周波数継電器 ^{*3}		
	警 報 用	発電機界磁地絡継電器	
		発電機電圧不平衡継電器	
		水素純度低検出装置	
		水素温度高検出装置	
水素圧力高低検出装置			
発電機固定子冷却水温度高検出装置			

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
 *2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「自動しゃ断用」と記載。
 *3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(4) 原動機との連結方法

	変更前	変更後
連結方法	直結*1	変更なし

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン軸直結」と記載。

8.2 常用電源設備

8.2.2 変圧器

(1) 変圧器

			変更前	変更後
名 称			主変圧器*1	
種 類	—		屋外用三相二巻線無圧密封式 (負荷時タップ切換装置付)	
容 量	kVA		890000	
電 圧	一 次	kV	16.5	
	二 次	kV	287.5~275~250 (19タップ)	
相		—	3	
周 波 数		Hz	50	
結 線 法	一 次	—	三角形	
	二 次	—	星形	
冷 却 法		—	送油風冷式	
個 数	常 用	—	1	
	予 備	—	なし	
取 付 箇 所	系 統 名 (ライン名)	—	主変圧器*1	
	設 置 床	—	*2 屋外 O. P. 15.0m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

変更なし

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

(2) 保護継電装置

		変 更 前	変 更 後
種	自動遮断用*2	発電機・主変圧器比率差動継電器	変更なし
		主変圧器比率差動継電器	
		距離継電器（過電流保護）	
		主変圧器中性点過電流継電器	
類*1	警報用	主変圧器温度高継電器	
		主変圧器衝撃油圧継電器	

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「保護継電装置の種類」と記載。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「自動しゃ断用」と記載。

8.2.3 遮断器

(1) 遮断器

			変更前	変更後
名 称			線路用 275kV 遮断器 (牡鹿幹線用) (第 1 号機設備, 第 1, 2, 3 号機共用) ^{*1}	変更なし
種 類	—	ガス遮断器 ^{*2}		
電 圧	kV	300		
電 流	A	4000		
遮断電流 ^{*3}	kA ^{*4}	40 ^{*4, *5}		
遮断時間 ^{*6}	サイクル ^{*6}	2 ^{*6}		
個 数	—	2		
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	線路用 275kV 遮断器 (牡鹿幹線用) (第 1 号機設備, 第 1, 2, 3 号機共用) ^{*1}	
	設 置 床	—	屋外 O.P 15.1m ^{*6}	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ガスしゃ断器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「しゃ断容量」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(16000) MVA」も記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「31.5」と記載。記載内容は設計図書による。

*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

			変更前	変更後
名称			線路用 275kV 遮断器 (松島幹線用) (第 3 号機設備, 第 1, 2, 3 号機共用) <small>*1</small>	変更なし
種類	—	ガス遮断器		
電圧	kV	300		
電流	A	4000		
遮断電流*2	kA*3	40*3		
遮断時間*4	サイクル*4	2*4		
個数	—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	線路用 275kV 遮断器 (松島幹線用) (第 3 号機設備, 第 1, 2, 3 号機共用) <small>*1</small>	
	設置床	—	屋外 O.P 15.1m <small>*5</small>	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「遮断容量」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「21000MVA」も記載。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.04 秒」も記載。

*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

線路用 275 kV 遮断器(松島幹線用)(保護継電装置)

		変 更 前	変 更 後
種	自 動 遮 断 用*2	マイクロ波搬送電流差動継電装置*3	
		母線保護電流差動継電装置*4	
類 *1	警 報 用*5	ガス圧力継電器*6	

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「保護継電装置の種類」と記載。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「遮断器動作用」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「マイクロ波搬送電流差動継電器」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「母線保護電流差動継電器」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「遮断器用」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ガス圧力継電器（警報）」と記載。

8.2.4 常用電源設備の基本設計方針，適用基準及び適用規格

(1) 基本設計方針

変更前	変更後
<p>用語の定義は「発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令」，「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>	<p>用語の定義は「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>
<p>第1章 共通項目</p> <p>常用電源設備の共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象，3. 火災，4. 設備に対する要求（4.2 材料及び構造等，4.3 使用中の亀裂等による破壊の防止，4.4 耐圧試験等，4.5 安全弁等，4.6 逆止め弁，4.7 内燃機関の設計条件を除く。），5. その他（5.4 放射性物質による汚染の防止を除く。）」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>常用電源設備の共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象（2.2 津波による損傷の防止を除く。），3. 火災，5. 設備に対する要求（5.2 材料及び構造等，5.3 使用中の亀裂等による破壊の防止，5.4 耐圧試験等，5.5 安全弁等，5.6 逆止め弁，5.7 内燃機関及びガスタービンの設計条件を除く。），6. その他（6.4 放射性物質による汚染の防止を除く。）」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 保安電源設備</p> <p>1.1 発電所構内における電気系統の信頼性確保</p> <p>1.1.1 機器の破損，故障その他の異常の検知と拡大防止</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 保安電源設備</p> <p>1.1 発電所構内における電気系統の信頼性確保</p> <p>1.1.1 機器の破損，故障その他の異常の検知と拡大防止</p> <p>安全施設へ電力を供給する保安電源設備は，電線路，発電用原子炉施設において常時使用される発電機，外部電源系及び非常用所内電源系から安全施設への電力の供給が停止することがないように，発電機，送電線，変圧器，母線等に保護継電器を設置し，機器の損壊，</p>

変更前	変更後
<p>常用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、2母線で構成し、通常運転時に必要な負荷を各母線に振り分け給電する。それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、常用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。</p> <p>共通用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、2母線で構成し、それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、共通用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する設計とする。</p> <p>また、高圧及び低圧母線等で故障が発生した際は、遮断器により故障箇所を隔離できる設計とし、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全施設への影響を限定できる設計とする。</p> <p>常用の直流電源設備は、250V系蓄電池、250V系充電器、250V直流主母線盤等で構成する。</p> <p>常用の直流電源設備は、タービンの非常用油ポンプ、発電機の非常用密封油ポンプ等へ給電する設計とする。</p> <p>常用の計測制御用電源設備は、計測母線で構成する。</p> <p>常用電源設備の動力回路のケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用する設計とし、多重化した非常用電源設備の動力回路のケーブルの系統分離対策に影響を及ぼさない設計とするとともに、</p>	<p>故障その他の異常を検知するとともに、異常を検知した場合は、ガス絶縁開閉装置あるいはメタルクラッド開閉装置等の遮断器が動作することにより、その拡大を防止する設計とする。</p> <p>特に重要安全施設に給電する系統においては、多重性を有し、系統分離が可能である母線で構成し、信頼性の高い機器を設置する。</p> <p>常用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、2母線で構成し、通常運転時に必要な負荷を各母線に振り分け給電する。それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、常用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。</p> <p>共通用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、2母線で構成し、それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、共通用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する設計とする。</p> <p>また、高圧及び低圧母線等で故障が発生した際は、遮断器により故障箇所を隔離できる設計とし、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全施設への影響を限定できる設計とする。</p> <p>常用の直流電源設備は、250V系蓄電池、250V系充電器、250V直流主母線盤等で構成する。</p> <p>常用の直流電源設備は、タービンの非常用油ポンプ、発電機の非常用密封油ポンプ等へ給電する設計とする。</p> <p>常用の計測制御用電源設備は、計測母線で構成する。</p> <p>常用電源設備の動力回路のケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用する設計とし、多重化した非常用電源設備の動力回路のケーブルの系統分離対策に影響を及ぼさない設計とするとともに、</p>

変更前	変更後
<p>制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。</p> <p>1.2 電線路の独立性及び物理的隔離</p> <p>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</p>	<p>制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。</p> <p>1.1.2 1相の電路の開放に対する検知及び電力の安定性回復</p> <p>変圧器1次側において3相のうちの1相の電路の開放が生じた場合に検知できるよう、変圧器1次側の電路は、電路を筐体に内包する変圧器やガス絶縁開閉装置等により構成し、3相のうちの1相の電路の開放が生じた場合に保護継電器にて自動で故障箇所の隔離及び非常用母線の受電切替ができる設計とし、電力の供給の安定性を回復できる設計とする。</p> <p>送電線において3相のうちの1相の電路の開放が生じた場合、275kV送電線は1回線での電路の開放時に安全施設への電力の供給が不安定にならないよう、多重化した設計とする。</p> <p>また、電力送電時、保護装置による3相の電流不平衡監視にて常時自動検知できる設計とする。</p> <p>66kV送電線は、各相の不足電圧継電器にて常時自動検知できる設計とする。</p> <p>更に、275kV送電線及び66kV送電線は、保安規定に定めている巡視点検を加えることで、保護装置による検知が期待できない場合の1相開放故障や、その兆候を早期に検知できる設計とする。</p> <p>1.2 電線路の独立性及び物理的隔離</p> <p>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</p>

変更前	変更後
<p>設計基準対象施設は、送受電可能な回線として 275kV 送電線（牡鹿幹線）（第 1 号機設備，第 1，2，3 号機共用（以下同じ。））及び 275kV 送電線（松島幹線）（第 3 号機設備，第 1，2，3 号機共用（以下同じ。））の 2 ルート 4 回線及び受電専用の回線として 66kV 送電線（第 1 号機設備，第 1，2，3 号機共用（以下同じ。））1 ルート 1 回線の合計 3 ルート 5 回線にて，電力系統に接続する設計とする。</p> <p>275kV 送電線（牡鹿幹線）1 ルート 2 回線は石巻変電所，275kV 送電線（松島幹線）1 ルート 2 回線は宮城中央変電所に連系する設計とする。また，66kV 送電線 1 ルート 1 回線は女川変電所及びその上流接続先である西石巻変電所に連系する設計とする。</p>	<p>設計基準対象施設は，送受電可能な回線として 275kV 送電線（牡鹿幹線）（第 1 号機設備，第 1，2，3 号機共用（以下同じ。））及び 275kV 送電線（松島幹線）（第 3 号機設備，第 1，2，3 号機共用（以下同じ。））の 2 ルート 4 回線及び受電専用の回線として 66kV 送電線（第 1 号機設備，第 1，2，3 号機共用（以下同じ。））1 ルート 1 回線の合計 3 ルート 5 回線にて，電力系統に接続する設計とする。</p> <p>275kV 送電線（牡鹿幹線）1 ルート 2 回線は石巻変電所，275kV 送電線（松島幹線）1 ルート 2 回線は宮城中央変電所に連系する設計とする。また，66kV 送電線 1 ルート 1 回線は女川変電所及びその上流接続先である西石巻変電所に連系する設計とする。</p> <p>上記 3 ルート 5 回線の送電線の独立性を確保するため，万一，送電線の上流側接続先である石巻変電所が停止した場合でも，外部電源からの電力供給が可能となるよう，宮城中央変電所及び女川変電所を経由するルートで本発電所に電力を供給することが可能な設計とする。また，宮城中央変電所が停止した場合には，石巻変電所及び女川変電所を経由するルートで本発電所に電力を供給することが可能な設計とする。更に，女川変電所が停止した場合には，石巻変電所及び宮城中央変電所を経由するルートで本発電所に電力を供給することが可能な設計とする。</p> <p>設計基準対象施設は，電線路のうち少なくとも 1 回線は，同一の送電鉄塔に架線されていない，他の回線と物理的に分離された送電線から受電する設計とする。</p> <p>また，大規模な盛土の崩壊，大規模な地すべり，急傾斜地の崩壊に対し鉄塔基礎の安定性が確保され，台風等による強風発生時及び着氷雪の事故防止対策が図られ，送電線の接近・交差・併架箇所については，必</p>

変更前	変更後
<p>1.3 設備の共用</p> <p>275kV 送電線, 275kV 開閉所, 66kV 送電線, 66kV 開閉所及び予備電源盤は, 第1号機, 第2号機及び第3号機で共用するが, 各号機の必要負荷容量を満足する設計とすること, また, 各号機に遮断器を設け, 短絡・地絡等の故障が発生した場合, 故障箇所を隔離し, 他号機へ影響を及ぼ</p>	<p>要な絶縁距離及び水平距離の確保, 又は, 全ての送電線が同時に機能喪失しない鉄塔の配置により送電線から受電できる設計とする。</p> <p>1.3 発電用原子炉施設への電力供給確保</p> <p>設計基準対象施設に接続する電線路は, いずれの2回線が喪失した場合においても電力系統から発電用原子炉施設への電力の供給が停止しない設計とし, 275kV 送電線4回線は母線連絡遮断器を設置したタイラインにより起動変圧器を介して接続するとともに, 66kV 送電線は予備変圧器(第1号機設備, 第1, 2, 3号機共用)を介して接続する設計とする。</p> <p>開閉所から主発電機側の送受電設備は, 十分な支持性能を持つ地盤に設置するとともに, 耐震性の高い, 可とう性のある懸垂碍子及び重心の低いガス絶縁開閉装置を設置する設計とする。</p> <p>更に, 防潮堤等により津波の影響を受けないエリアに設置するとともに, 塩害を考慮し, 275kV 送電線引留部の碍子に対しては, 碍子洗浄ができる設計とし, 66kV 送電線引留部の碍子に対しては, 絶縁強化を施した碍子を設置し, 遮断器等に対しては, 電路がタンクに内包されているガス絶縁開閉装置を設置する。</p> <p>1.4 設備の共用及び相互接続</p> <p>275kV 送電線, 275kV 開閉所, 66kV 送電線, 66kV 開閉所及び予備電源盤は, 第1号機, 第2号機及び第3号機で共用するが, 各号機の必要負荷容量を満足する設計とすること, また, 各号機に遮断器を設け, 短絡・地絡等の故障が発生した場合, 故障箇所を隔離し, 他号機へ影響を及ぼ</p>

変更前	変更後
<p>さない設計とし、共用箇所故障により外部電源を受電できなくなった場合は、非常用ディーゼル発電機（高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。）により各号機の非常用所内電源系に給電できる設計とすることで、共用により安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>さない設計とし、共用箇所故障により外部電源を受電できなくなった場合は、非常用ディーゼル発電機（高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を含む。）により各号機の非常用所内電源系に給電できる設計とすることで、共用により安全性を損なわない設計とする。</p> <p>共通用高圧母線（第1～2号機間及び第2～3号機間）は、第1号及び第2号機、第2号及び第3号機で相互接続しているが、電源融通時に何らかの要因で電気故障が発生した場合、遮断器により故障箇所を隔離し、他の号機へ影響を及ぼさない設計とすることで、相互接続により安全性を損なわない設計とする。</p>
<p>2. 主要対象設備 常用電源設備の対象となる主要な設備について、「表1 常用電源設備の主要設備リスト」に示す。</p>	<p>2. 主要対象設備 常用電源設備の対象となる主要な設備について、「表1 常用電源設備の主要設備リスト」に示す。</p>

表1 常用電源設備の主要設備リスト(1/1)

設備区分	系統名称	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)		名称	設計基準対象施設 ^(注1)		重大事故等対処設備 ^(注1)	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
発電機	-	発電機	発電機	C	-	-	変更なし	-	-	-		
		励磁装置	発電機励磁装置	C	-	-	変更なし	-	-	-		
		保護継電装置	発電機(保護継電装置)	C	-	-	変更なし	-	-	-		
		原動機との連結方法	原動機との連結方法 ^(注2)	-	-	-	変更なし	-	-	-		
変圧器	-	変圧器	主変圧器	C	-	-	変更なし	-	-	-		
		保護継電装置	主変圧器(保護継電装置)	C	-	-	変更なし	-	-	-		
遮断器	-	遮断器	線路用 275kV 遮断器(牡鹿幹線用)(第1号機設備, 第1, 2, 3号機共用)	C	-	-	変更なし	-	-	-		
			線路用 275kV 遮断器(松島幹線用)(第3号機設備, 第1, 2, 3号機共用)	C	-	-	変更なし	-	-	-		
		保護継電装置	線路用 275kV 遮断器(牡鹿幹線用)(第1号機設備, 第1, 2, 3号機共用)(保護継電装置)	C	-	-	変更なし	-	-	-		
			線路用 275kV 遮断器(松島幹線用)(第3号機設備, 第1, 2, 3号機共用)(保護継電装置)	C	-	-	変更なし	-	-	-		

(注1) 表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「8 原子炉本体の基本設計方針、適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。

(注2) 設計基準対象施設として使用する。

8.2.5 常用電源設備に係る工事の方法

変更前	変更後
<p>常用電源設備に係る工事の方法は、「原子炉本体」における「9 原子炉本体に係る工事の方法」（「1.2 主要な耐圧部の溶接部に係る工事の手順と使用前事業者検査」, 「1.3 燃料体に係る工事の手順と使用前事業者検査」, 「2.1.2 主要な耐圧部の溶接部に係る検査」, 「2.1.3 燃料体に係る検査」及び「3.2 燃料体の加工に係る工事上の留意事項」を除く。）に従う。</p>	<p>変更なし</p>

8.3 補助ボイラー

8.3.15 補助ボイラーの基本設計方針，適用基準及び適用規格

(1) 基本設計方針

変更前	変更後
<p>用語の定義は「発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令」，「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>	<p>用語の定義は「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>
<p>第1章 共通項目</p> <p>補助ボイラーの共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象，3. 火災，4. 設備に対する要求（4.2 材料及び構造等，4.3 使用中の亀裂等による破壊の防止，4.4 耐圧試験等，4.6 逆止め弁，4.7 内燃機関の設計条件，4.8 電気設備の設計条件を除く。），5. その他（5.4 放射性物質による汚染の防止を除く。）」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>補助ボイラーの共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象（2.2 津波による損傷の防止を除く。），3. 火災，5. 設備に対する要求（5.2 材料及び構造等，5.3 使用中の亀裂等による破壊の防止，5.4 耐圧試験等，5.6 逆止め弁，5.7 内燃機関及びガスタービンの設計条件，5.8 電気設備の設計条件を除く。），6. その他（6.4 放射性物質による汚染の防止を除く。）」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 補助ボイラー</p> <p>1.1 補助ボイラーの機能</p> <p>発電用原子炉施設には，設計基準事故に至るまでの間に想定される使用条件として，液体廃棄物処理系の濃縮装置，排ガス予熱器，屋外タンクの保温及び建屋の暖房用並びに主蒸気を使用できない場合のタービンのグランドシール及び起動用蒸気式空気抽出器に，必要な蒸気を供給</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 補助ボイラー</p> <p style="text-align: right;">変更なし</p>

変更前	変更後
<p>する能力を有する補助ボイラー（「第 1 号機設備，第 1，2 号機共用」）（以下「第 1 号機補助ボイラー」という。）及び補助ボイラー（「第 1，2 号機共用」）（以下「第 2 号機補助ボイラー」という。）を設置する。</p> <p>第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラーは，発電用原子炉施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>1.2 補助ボイラーの設計条件</p> <p>第 1 号機補助ボイラーは，ボイラー本体，重油燃焼設備，通風設備，給水設備，制御装置等から，第 2 号機補助ボイラーは，ボイラー本体，給水設備，制御装置等から構成する。</p> <p>蒸気は蒸気だめより加熱蒸気系を経て，蒸気を使用する各機器に供給できる設計とする。</p> <p>各機器で使用された蒸気のうち回収できるものは，復水戻り系により，第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラーの給水として再使用し，給水使用量を低減できる設計とする。</p> <p>第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラーは，長期連続運転及び負荷変動に対応できる設計とし，設計基準事故時及び当該事故に至るまでの間に想定される全ての環境条件において，その機能を発揮できる設計とするとともに，第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラーの健全性及び能力を確認するため，必要な箇所の保守点検（試験及び検査を含む。）ができるよう設計する。</p> <p>設計基準対象施設に施設する第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラー並びにその附属設備の耐圧部分に使用する材料は，安全な化学的成分及び機械的強度を有するとともに，耐圧部分の構造は，最高使</p>	

変更前	変更後
<p>用圧力及び最高使用温度において、発生する応力に対して安全な設計とする。</p> <p>設計基準対象施設に施設する第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラーに属する主要な耐圧部の溶接部は、次のとおりとし、使用前事業者検査により適用基準及び適用規格に適合していることを確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 不連続で特異な形状でない設計とする。 (2) 溶接による割れが生ずるおそれがなく、かつ、健全な溶接部の確保に有害な溶込み不良その他の欠陥がないことを非破壊試験により確認する。 (3) 適切な強度を有する設計とする。 (4) 適切な溶接施工法、溶接設備及び技能を有する溶接士であることを機械試験その他の評価方法によりあらかじめ確認する。 <p>第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラーの蒸気ドラムには、圧力の上昇による設備の損傷防止のため、最大蒸発量と同等容量以上の安全弁を設ける設計とする。</p> <p>第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラーの蒸気ドラムには、圧力の上昇による設備の損傷防止のため、ドラム内水位、ドラム内圧力等の運転状態を計測する装置を設ける設計とする。</p> <p>第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラーには、ボイラーの最大連続蒸発時において、熱的損傷が生ずることのないよう水を供給できる適切な容量の給水設備を設け、給水の入口及び蒸気の出口については、流路を速やかに遮断できる設計とする。</p> <p>第 1 号機補助ボイラー及び第 2 号機補助ボイラーには、ボイラー水</p>	

変更前	変更後
<p>の濃縮を防止し、及び水位を調整するために、ボイラー水を抜くことができる設計とする。</p> <p>第 1 号機補助ボイラーから排出されるばい煙については、良質燃料（A 重油）を使用することにより、硫黄酸化物排出量、窒素酸化物濃度及びばいじん濃度を低減する設計とする。</p> <p>1.3 設備の共用</p> <p>補助ボイラー並びに加熱蒸気及び復水戻り系は、第 1 号機と共用するが、各号機に必要な容量を確保するとともに、接続部の弁を閉操作することにより隔離できる設計とすることで、共用により安全性を損なわない設計とする。</p>	

8.3.16 補助ボイラーに係る工事の方法

変更前	変更後
補助ボイラーに係る工事の方法は、「原子炉本体」における「9 原子炉本体に係る工事の方法」（「1.3 燃料体に係る工事の手順と使用前事業者検査」, 「2.1.3 燃料体に係る検査」及び「3.2 燃料体の加工に係る工事上の留意事項」を除く。）に従う。	変更なし

8.4 火災防護設備

8.4.1 火災区域構造物及び火災区画構造物

・原子炉建屋

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					RHR ポンプ(A)室他*1	火災区画	R1-A	壁	150 以上 (<input type="checkbox"/>)*2)	鉄筋コンクリート	
					RCW 熱交換器・ポンプ(A)(C)室他*1	火災区画	R1-B				
					緊急用電気品室(1)他*1	火災区画	R1-C				
					DC RCIC MCC 室他*1	火災区画	R1-D				
					CAMS ラック(A)室*1	火災区画	R1-H				
					トールス室*1	火災区画	R1-I				
					原子炉格納容器*1	火災区画	R1-J				
					B1F インナー通路他*1	火災区画	R1-K				
					RHR ポンプ(B)室他*1	火災区画	R2-A				
					RHR 熱交換器(B)室他*1	火災区画	R2-B				
					DGDO(B)連絡配管トレンチ*1	火災区画	R2-C				
					緊急用電気品室(2)他*1	火災区画	R2-D				
					ダスト放射線モニタ(B)室*1	火災区画	R2-E				
					運転床*1	火災区画	R2-F				
					HPCS ポンプ室他*1	火災区画	R3-A				
					バルブラッピング室*1	火災区画	R3-D				
					RW 制御室他*1	火災区画	R3-E				
R-01 階段室*1	火災区画	R-1-62									

注記*1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

・タービン建屋

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	150 以上 (<input type="text"/> *2)	鉄筋コンクリート	タービン建屋*1	火災区域	T-1	壁	150 以上 (<input type="text"/> *2)	鉄筋コンクリート
—						活性炭式希ガスホールドアップ塔室*1	火災区域	T-1-27			
—						排ガス復水器(A)(B)室*1	火災区域	T-3-13			

注記*1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

・制御建屋

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	150 以上 (<input type="text"/> *2)	鉄筋コンクリート	空調機械(A)室他*1	火災区画	C1-A	壁	150 以上 (<input type="text"/> *2)	鉄筋コンクリート
—						DC125V バッテリ(A)-1 室*1	火災区画	C1-B			
—						中央制御室他*1	火災区画	C1-C			
—						RSS 盤室*1	火災区画	C1-D			
—						C-01 階段室*1	火災区画	C1-E			
—						常用系ケーブル処理室*1	火災区画	C1-F			
—						空調機械(B)室他*1	火災区画	C2-A			
—						常用・共通 M/C・P/C 室*1	火災区画	C2-C			
—						区分Ⅲケーブル処理室*1	火災区画	C3-A			

注記*1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

・海水ポンプ室エリア

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					RSW ポンプ(A)(C)室*1	火災区画	Y-1-1	壁	150 以上 (<input type="text"/> *2)	鉄筋コンクリート	
					RSW ポンプ(B)(D)室*1	火災区画	Y-1-4				
					HPSW ポンプ室*1	火災区画	Y-1-3				
					区分Ⅰケーブル連絡トレンチ*1	火災区画	Y-1-8				
					区分Ⅱケーブル連絡トレンチ*1	火災区画	Y-1-6				
					区分Ⅲケーブル連絡トレンチ*1	火災区画	Y-1-7				

注記*1：本設備は既存の設備である。
*2：公称値のうち最小のものを示す。

・軽油タンクエリア

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					軽油タンク室(A)他	火災区画	Y1-B	壁	150 以上 (<input type="text"/> *1)	鉄筋コンクリート	
					軽油タンク室(B)他	火災区画	Y2-B				
					軽油タンク室(H)他	火災区画	Y3-B				

注記*1：公称値のうち最小のものを示す。

・復水貯蔵タンクエリア

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室*1	火災区画	Y-7-7	壁	150以上 (<input type="text"/> *2)	鉄筋コンクリート	

注記*1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

・緊急時対策建屋

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					緊急時対策建屋	火災区域	KB-1	壁	<input type="text"/> *1	鉄筋コンクリート	

注記*1：公称値のうち最小のものを示す。

・緊急用電気品建屋エリア

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					緊急用電気品建屋	火災区域	EB-1	壁	<input type="text"/> *1	鉄筋コンクリート	
					ガスタービン発電設備軽油タンクエリア	火災区域	EG-1	壁	<input type="text"/> *1		

注記*1：公称値のうち最小のものを示す。

8-4-1-4

8.4.2 消火設備

8.4.2.1 水消火設備

8.4.2.1.1 屋内水消火系

(1) ポンプ (常設)

				変更前	変更後	
名		称			電動機駆動消火ポンプ* ¹ (第1,2号機共用)	
ポンプ	種類	—			うず巻形	
	容量	m ³ /h/個			18以上 (192* ²)	
	揚程	m			50.04以上 (85* ²)	
	最高使用圧力	MPa			1.07	
	最高使用温度	℃			40	
	主要寸法	吸込内径	mm			200* ²
		吐出内径	mm			200* ²
		たて	mm			440* ²
		横	mm			1375* ²
		高さ	mm			965* ²
材料	ケーシング			FC20		
個数	—			2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			屋内水消火系	
	設置床	—			補助ボイラー建屋 O.P. 11.00 m	
	溢水防護上の 区画番号	—			—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			—	
原動機	種類	—			誘導電動機	
	出力	kW/個			75	
	個数	—			2	
	取付箇所	—			ポンプと同じ	

注記*1: 本設備は、既存の設備である。

*2: 公称値を示す。

(2) 容器 (常設)

			変更前	変 更 後
名 称				消火水タンク
種 類	—			たて置円筒形
容 量	m ³ /個			110 以上 (130*)
最 高 使 用 圧 力	MPa			静水頭
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		6000
	胴 板 厚 さ	mm		4.5 以上 (6.0*)
	底 板 厚 さ	mm		6.0 以上 (9.0*)
	平 板 (屋 根) 厚 さ	mm		4.5 以上 (4.5*)
	管 台 外 径 (出 口)	mm		216.3*
	管 台 厚 さ (出 口)	mm		12.7*
	側マンホール管台外径	mm	—	622.0*
	側マンホール管台厚さ	mm		6.0*
	側マンホールふた厚さ	mm		10.0*
	高 さ	mm		5400*
材 料	胴 板	—		SS400
	底 板	—		SM400C
	平 板 (屋 根)	—		SS400
	側マンホールふた	—		SM400C
個 数	—			1
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		屋内水消火系
	設 置 床	—		屋外 O.P. 14.80 m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

(3) 貯蔵槽（常設）

			変更前	変 更 後
名 称			—	消火水槽（第 1, 2 号機共用）* ¹
種 類		鉄筋コンクリート水槽		
容 量	m ³ /個	110 以上（110* ² ）		
主 要 寸 法	た て	mm		8490* ²
	横	mm		8590* ²
	高 さ	mm		3500* ²
材 料		鉄筋コンクリート		
個 数		1		

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値を示す。

(5) 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
屋 内 水 消 火 系	—	—	—	—	—	*3 消火水槽 ～ 電動機駆動消火ポンプ (A) (第 1, 2 号機共用)	1.07	40	216.3	(8.2)	STPG370
						消火水タンク ～ 電動機駆動消火ポンプ (A) 入口配管合流 点	静水頭	40	216.3	(8.2)	STPG370
						*3 消火水槽 ～ 電動機駆動消火ポンプ (B) (第 1, 2 号機共用)	1.07	40	216.3	(8.2)	STPG370
						消火水タンク ～ 電動機駆動消火ポンプ (B) 入口配管合流 点	静水頭	40	216.3	(8.2)	STPG370
						*3 電動機駆動消火ポンプ (A) ～ 消火水ヘッダ分岐点 (第 1, 2 号機共用)	1.07	40	216.3	(8.2)	STPG370
								318.5	(10.3)	STPG370	
						*3 電動機駆動消火ポンプ (B) ～ 電動機駆動消火ポンプ (A) 出口配管合流 点 (第 1, 2 号機共用)	1.07	40	216.3	(8.2)	STPG370

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
屋 内 水 消 火 系	—	—	—	—	—	消火水ヘッダ分岐点 ～ 制御建屋供給配管分岐点 (第1,2号機共用) *3	1.07	40	114.3	(6.0)	STPG370
						制御建屋供給配管分岐点 ～ タービン建屋供給配管分岐点 *3	1.07	40	114.3	(6.0)	STPG370
						タービン建屋供給配管分岐点 ～ 原子炉建屋供給配管分岐点 *3	1.07	40	114.3	(6.0)	STPG370

注記 *1：外径は公称値を示す。
 *2：()内は公称値を示す。
 *3：本設備は、既存の設備である。

8.4.2.1.2 屋外水消火系
(1) ポンプ (常設)

			変更前	変更後	
名 称				屋外消火系電動機駆動消火ポンプ	
ポ ン プ	種 類	—		うず巻形	
	容 量	m ³ /h/個		48 以上 (76*)	
	揚 程	m		32.5 以上 (50*)	
	最 高 使 用 圧 力	MPa		1.37	
	最 高 使 用 温 度	℃		40	
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm		150*
		吐 出 内 径	mm		100*
		た て	mm		780*
		横	mm		910*
		高 さ	mm		1065*
	材 料	ケ ー シ ン グ	—		SCPH21
	個 数	—			1
	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		屋外水消火系
		設 置 床	—		消火ポンプ建屋 O.P. 62.30 m
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		—	
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		—	
原 動 機	種 類	—		誘導電動機	
	出 力	kW/個		22	
	個 数	—		1	
	取 付 箇 所	—		ポンプと同じ	

注記* : 公称値を示す。

				変更前	変 更 後	
名 称					屋外消火系ディーゼル駆動 消火ポンプ	
ポ ン プ	種 類	—			うず巻形	
	容 量	m ³ /h/個			48 以上 (76*)	
	揚 程	m			32.5 以上 (50*)	
	最 高 使 用 圧 力	MPa			1.37	
	最 高 使 用 温 度	℃			40	
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm			150*
		吐 出 内 径	mm			100*
		た て	mm			780*
			横	mm		
		高 さ	mm			1120*
	材 料	ケ ー シ ン グ			SCPH21	
	個 数	—			1	
	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			屋外水消火系
		設 置 床	—			消火ポンプ建屋 O.P. 62.30 m
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—			—	
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—			—	
原 動 機	種 類	—			ディーゼル機関	
	出 力	kW/個			44	
	個 数	—			1	
	取 付 箇 所	—			ポンプと同じ	

注記* : 公称値を示す。

(2) 容器 (常設)

			変更前	変 更 後
名 称				屋外消火系消火水タンク
種 類	—			たて置円筒形
容 量	m ³ /個			100 以上 (130*)
最 高 使 用 圧 力	MPa			静水頭
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		6000
	胴 板 厚 さ	mm		4.5 以上 (6.0*)
	底 板 厚 さ	mm		6.0 以上 (9.0*)
	平 板 (屋 根) 厚 さ	mm		4.5 以上 (4.5*)
	管 台 外 径 (出 口)	mm		165.2*
	管 台 厚 さ (出 口)	mm		11.0*
	側マンホール管台外径	mm	—	622.0*
	側マンホール管台厚さ	mm		6.0*
	側マンホールふた厚さ	mm		10.0*
	高 さ	mm		5400*
材 料	胴 板	—		SS400
	底 板	—		SM400C
	平 板 (屋 根)	—		SS400
	側マンホールふた	—		SM400C
個 数	—			2
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		屋外水消火系
	設 置 床	—		屋外 O.P. 62.00 m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
屋外水消火系	—					屋外水消火系	No.1屋外消火系消火水タンク ～ 屋外消火系 電動機駆動消火ポンプ	静水頭	40	165.2	(7.1)	STPG370
							No.2屋外消火系消火水タンク ～ 屋外消火系電動機駆動 消火ポンプ入口配管合流点	静水頭	40	165.2	(7.1)	STPG370
							No.1屋外消火系消火水タンク ～ 屋外消火系 ディーゼル駆動消火ポンプ	静水頭	40	165.2	(7.1)	STPG370
							No.2屋外消火系消火水タンク ～ 屋外消火系ディーゼル駆動 消火ポンプ入口配管合流点	静水頭	40	165.2	(7.1)	STPG370
							屋外消火系 電動機駆動消火ポンプ ～ 海水ポンプ室及び復水貯蔵タンク/軽油タンクエリア供給 配管分岐点	1.37	40	114.3	(6.0)	STPG370
										165.2	(7.1)	STPG370
							屋外消火系 ディーゼル駆動消火ポンプ ～ 屋外消火系電動機駆動 消火ポンプ出口配管合流点	1.37	40	114.3	(6.0)	STPG370
			165.2	(7.1)	STPG370							

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2 ハロンガス消火設備

8.4.2.2.1 RHR(A)室/RHR(B)室/B3F 通路・サンプル室消火系

(2) 容器 (常設)

		変 更 前	変 更 後	
名 称		—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—		溶接容器	
容 量	L/個		70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度	℃		40	
主 要 寸 法	外 径		mm	267.4*
	高 さ		mm	1515*
	胴 部 厚 さ		mm	□
	底 部 厚 さ		mm	
材 料	—		SM520B	
個 数	—		8	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)		—	RHR(A)室/RHR(B)室/ B3F 通路・サンプル室 消火系
	設 置 床		—	原子炉建屋 O.P. -8.10m
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料			
RHR(A)室 / RHR(B)室 / B3F通路・サンプ室消火系	—	—				RHR(A)室 / RHR(B)室 / B3F通路・サンプ室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP			
									60.5	(3.9)	SUS304TP			
									42.7	(3.6)	SUS304TP			
									42.7	(4.9)	STPG370			
						RHR(A)室 / RHR(B)室 / B3F通路・サンプ室消火系	5.2	40	RHRポンプ(A)室分岐点 ～ RHRポンプ(A)室			42.7	(3.6)	SUS304TP
									42.7	(4.9)	STPG370			
									B3F 南側通路, R/A HCW・LCWサンプ室分岐点 ～ B3F 南側通路, R/A HCW・LCWサンプ室			60.5	(3.9)	SUS304TP
									60.5	(5.5)	STPG370			

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.2 LPCS ポンプ・ラック室/HPCS ポンプ・ラック室消火系

(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			5	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			LPCS ポンプ・ラック室 /HPCS ポンプ・ラック 室消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O. P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
HPCSポンプ・ラック室消火系 LPCSポンプ・ラック室	—	—				HPCSポンプ・ラック室消火系 LPCSポンプ・ラック室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									76.3	(5.2)	SUS304TP
									76.3	(7.0)	STPG370
									76.3	(5.2)	SUS304TP
									76.3	(7.0)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.3 RCW(B)(D)/HPCW/NSD/B2F ハッチ室消火系

(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	13		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		RCW(B)(D)/HPCW/NSD/ B2F ハッチ室 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 6.90m
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

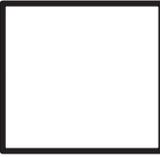
(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
RCW (B) (D) / HPCW / NSD / B2F ハッチ室消火系	—	—				RCW (B) (D) / HPCW / NSD / B2F ハッチ室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									114.3	(6.0)	SUS304TP
									76.3	(5.2)	SUS304TP
									76.3	(7.0)	STPG370
						B2F ハッチ室分岐点 ～ B2F ハッチ室	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
									42.7	(4.9)	STPG370
						R/B NSD サンプ室分岐点 ～ R/B NSD サンプ室	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
									42.7	(4.9)	STPG370
						RCW 熱交換器 (B) (D) 室, RCW ポンプ (B) (D) 室分岐点 ～ RCW 熱交換器 (B) (D) 室, RCW ポンプ (B) (D) 室	5.2	40	114.3	(6.0)	SUS304TP
									114.3	(8.6)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.4 RHR(C)室/RCICタービンポンプ室消火系

(2) 容器 (常設)

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	類	—		溶接容器
容量	L/個			70 以上 (70*)
最高使用圧力	MPa			5.2
最高使用温度	℃			40
主要寸法	外径	mm		267.4*
	高さ	mm		1515*
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
材料	—	SM520B		
個数	—	5		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		RHR(C)室/RCIC タービンポンプ室消火系
	設置床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢水防護上の 区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記* : 公称値を示す。

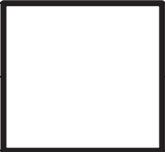
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
RHR (C)室/RCICタービン ポンプ室消火系	—	—				RHR (C)室/RCICタービン ポンプ室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									48.6	(3.7)	SUS304TP
									48.6	(5.1)	STPG370
									48.6	(3.7)	SUS304TP
									48.6	(5.1)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.5 RCW 熱交換器・ポンプ(A)(C)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			13	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			RCW 熱交換器・ポンプ (A)(C)室消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
RCW熱交換器・ポンプ(A)(C)室消火系	—	—	—	—	—	RCW熱交換器・ポンプ(A)(C)室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									114.3	(6.0)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.6 B2F 南側通路／バルブラッピング室消火系

(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	10		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		B2F 南側通路／ バルブラッピング室 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
B2F南側通路／バルブラッピング室消火系	—	—				B2F南側通路／バルブラッピング室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									60.5	(5.5)	STPG370
						B2F南側通路，RHR(A)計装ラック室分岐点 ～ B2F南側通路，RHR(A)計装ラック室	5.2	40	60.5	(3.9)	SUS304TP
									60.5	(5.5)	STPG370
									60.5	(5.5)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.7 IA・SA 空気圧縮機室／B2F 東側通路消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			8	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			IA・SA 空気圧縮機室／ B2F 東側通路消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O. P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
I A ・ S A 空 気 圧 縮 機 室 / B 2 F 東 側 通 路 消 火 系	—	—				I A ・ S A 空 気 圧 縮 機 室 / B 2 F 東 側 通 路 消 火 系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									76.3	(5.2)	SUS304TP
									76.3	(7.0)	STPG370
									42.7	(3.6)	SUS304TP
									42.7	(4.9)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.8 CRD ポンプ室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	5		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		CRD ポンプ室 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O. P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
C R D ポ ン プ 室 消 火 系	—						C R D ポ ン プ 室 消 火 系	ハロン1301貯蔵容器 ～ CRDポンプ室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
											76.3	(5.2)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.9 MUWC ポンプ室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	3		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		MUWC ポンプ室 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O. P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
MUWCポンプ室消火系	—	—	—	—	—	MUWCポンプ室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									48.6	(3.7)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.10 B2F/B1F/1F 西側通路/排風機室消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			32	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			B2F/B1F/1F 西側通路 /排風機室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 15.03m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
B2F/B1F/1F 西側通路/排風機室消火系	—	—				ハロン1301貯蔵容器 ～ 排風機室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									114.3	(6.0)	SUS304TP
									114.3	(8.6)	STPG370
						B1F 西側通路分岐点 ～ B1F 西側通路	5.2	40	76.3	(5.2)	SUS304TP
									76.3	(7.0)	STPG370
						B2F 西側通路分岐点 ～ B2F 西側通路	5.2	40	60.5	(3.9)	SUS304TP
									60.5	(5.5)	STPG370
						1F 西側通路分岐点1 ～ 1F 西側通路	5.2	40	76.3	(5.2)	SUS304TP
									76.3	(7.0)	STPG370
						1F 西側通路分岐点2 ～ 1F 西側通路	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP
						1F 西側通路分岐点3 ～ 1F 西側通路	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
						1F 西側通路分岐点4 ～ 1F 西側通路	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
1F 西側通路分岐点5 ～ 1F 西側通路	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP						

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。

8.4.2.2.11 PLR-VVVF 室／区分Ⅱ非常用電気品室消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—			溶接容器
容 量	L/個			70 以上 (70*)
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			SM520B
個 数	—			15
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		PLR-VVVF 室／区分Ⅱ 非常用電気品室消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後											
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料						
区分Ⅱ非常用電気品室消火系 PLR・VVVF室	—	—				区分Ⅱ非常用電気品室 ハロン1301貯蔵容器 ～ 区分Ⅱ非常用電気品室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP						
									76.3	(5.2)	SUS304TP						
									76.3	(7.0)	STPG370						
						区分Ⅱ非常用電気品室消火系 PLR・VVVF室	—	—				区分Ⅱ非常用電気品室消火系 静止型PLRポンプ電源装置室分岐点 ～ 静止型PLRポンプ電源装置室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
															89.1	(7.6)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.12 B1F インナー通路消火系

(2) 容器 (常設)

			変更前	変更後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	67		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		B1F インナー通路消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記*：公称値を示す。

O 2 ① II R 0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
B1F インナー 通路消火系	—	—	—	—	—	ハロン1301貯蔵容器 ～ B1F インナー通路(1)	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
						ハロン1301貯蔵容器 ～ B1F インナー通路(2)	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
						ハロン1301貯蔵容器 ～ B1F インナー通路(3)	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
						ハロン1301貯蔵容器 ～ B1F インナー通路(4)	5.2	40	114.3	(6.0)	SUS304TP
								89.1	(5.5)	SUS304TP	

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。

8.4.2.2.13 DC RCIC MCC室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			DC RCIC MCC 室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 6.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
D C R C I C M C C 室 消 火 系		—				D C R C I C M C C 室 消 火 系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.14 区分Ⅰ非常用電気品室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			13	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			区分Ⅰ非常用電気品室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 6.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
区分Ⅰ非常用電気品室消火系		—				区分Ⅰ非常用電気品室消火系 ハロン1301貯蔵容器 ～ 区分Ⅰ非常用電気品室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.15 D/G(A)室／(B)室／D/G 補機(A)室／(B)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			11	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			D/G(A)室／(B)室／D/G 補機(A)室／(B)室消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
D/G(A)室 / (B)室 / D/G補機(A)室 / (B)室 消火系	—	—				D/G(A)室 / (B)室 / D/G補機(A)室 / (B)室 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									76.3	(5.2)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									60.5	(5.5)	STPG370
						ディーゼル発電機(B)室分岐点 ～ ディーゼル発電機(B)室	5.2	40	76.3	(5.2)	SUS304TP
									76.3	(7.0)	STPG370
						ディーゼル発電機(A)室分岐点 ～ ディーゼル発電機(A)室	5.2	40	76.3	(5.2)	SUS304TP
									76.3	(7.0)	STPG370
						D/G補機(A)室分岐点 ～ D/G補機(A)室	5.2	40	60.5	(3.9)	SUS304TP
									60.5	(5.5)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.16 B1F ハッチ室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	4		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		B1F ハッチ室 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
B1F ハッチ室 消火系	—	—	—	—	—	B1F ハッチ室 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									76.3	(5.2)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.17 区分ⅢHPCS 電気品室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			6	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			区分ⅢHPCS 電気品室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 6.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
区分Ⅲ H P C S 電気品室 消火系		—				区分Ⅲ H P C S 電気品室 消火系					
						ハロン1301貯蔵容器 ～ 区分ⅢHPCS電気品室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.18 区分Ⅱ非常用 MCC 室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>	
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			4	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			区分Ⅱ非常用 MCC 室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 6.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
区分Ⅱ非常用MCC室消火系	—	—	—	—	—	区分Ⅱ非常用MCC室消火系 ハロン1301貯蔵容器 ～ 区分Ⅱ非常用MCC室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									76.3	(5.2)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.19 導電率計ラック室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		導電率計ラック室 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 9.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
導電率計ラック室消火系	—					導電率計ラック室消火系	ハロン1301貯蔵容器 ～ 導電率計ラック室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
										34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.20 FPC ポンプ(A)(B)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			2	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			FPC ポンプ(A)(B)室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
FPCポンプ(A)(B)室消火系	—	—				FPCポンプ(A)(B)室消火系 ハロン1301貯蔵容器 ～ FPCポンプ(A)(B)室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.21 HWH 熱交換器・ポンプ室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			4	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			HWH 熱交換器・ポンプ室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 24.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
HWH熱交換器・ポンプ室消火系	—	—	—	—	—	HWH熱交換器・ポンプ室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.22 緊急用電気品室(1)／(2)消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			4	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			緊急用電気品室(1)／(2) 消火系
	設 置 床	—			制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
緊急用電気品室 (1) / (2) 消火系	—	—				緊急用電気品室 (1) / (2) 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									60.5	(5.5)	STPG370
						緊急用電気品室 (1) 分岐点 ~ 緊急用電気品室 (1)	5.2	40	60.5	(3.9)	SUS304TP
									60.5	(5.5)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.23 区分Ⅰ非常用D/G制御盤室消火系
(2) 容器(常設)

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	—	溶接容器		
容量	L/個	70 以上 (70*)		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		267.4*
	高さ	mm		1515*
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
材料	—	SM520B		
個数	—	1		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		区分Ⅰ非常用D/G制御盤室消火系
	設置床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢水防護上の 区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
区分Ⅰ非常用 D / G 制御盤室 消火系	—	—	—	—	—	区分Ⅰ非常用 D / G 制御盤室 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.24 区分Ⅲ非常用 D/G 制御盤室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			4	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			区分Ⅲ非常用 D/G 制御盤 室消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O. P. 24. 80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
区分Ⅲ非常用D/G制御盤室消火系	—	—				区分Ⅲ非常用D/G制御盤室消火系 ハロン1301貯蔵容器 ～ 区分Ⅲ非常用D/G制御盤室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

O 2 ① II R O

8.4.2.25 ディーゼル発電機(HPCS)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—			溶接容器
容 量	L/個			70 以上 (70*)
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			SM520B
個 数	—			9
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ディーゼル発電機(HPCS) 室消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ディーゼル発電機 (HPCS) 室 消火系	—	—				ディーゼル発電機 (HPCS) 室 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.26 区分Ⅱ非常用D/G制御盤室/R-12階段室消火系
(2) 容器 (常設)

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	類	—		溶接容器
容量	量	L/個		70 以上 (70*)
最高使用圧力		MPa		5.2
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm		267.4*
	高さ	mm		1515*
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
材料		—		SM520B
個数		—		5
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		区分Ⅱ非常用D/G制御盤室/R-12階段室消火系
	設置床	—		原子炉建屋 O.P. 24.80m
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
区分Ⅱ非常用D/G制御盤室/ R12階段室消火系	—	—				区分Ⅱ非常用D/G制御盤室/ R12階段室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									76.3	(5.2)	SUS304TP
									42.7	(3.6)	SUS304TP
									42.7	(4.9)	STPG370
						区分Ⅱ非常用D/G制御盤室, 窒素ポンベ 設置スペース分岐点 ~ 区分Ⅱ非常用D/G制御盤室, 窒素ポンベ 設置スペース	5.2	40	76.3	(5.2)	SUS304TP
						76.3			(7.0)	STPG370	

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.27 区分Ⅲバッテリー室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			区分Ⅲバッテリー室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後						
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
区分Ⅲ バッテリー室 消火系	—					区分Ⅲ バッテリー室 消火系	ハロン1301貯蔵容器 ～ 区分Ⅲバッテリー室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
										34.0	(3.4)	SUS304TP
										27.2	(2.9)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.28 送風機・緊急用電気品室消火系
(2) 容器 (常設)

			変更前	変更後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			24	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			送風機・緊急用電気品室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 24.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
送風機・緊急用電気品室消火系	—	—	—	—	—	送風機・緊急用電気品室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									114.3	(6.0)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.29 燃料デイトンク(B)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		燃料デイトンク(B)室 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 24.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
燃料 デ イ タ ン ク (B) 室 消 火 系	—	—				燃料 デ イ タ ン ク (B) 室 消 火 系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP
						ハロン1301貯蔵容器 ～ 燃料デイトンク(B)室					

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.30 SOL 冷凍機室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			3	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			SOL 冷凍機室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 24.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
S O L 冷 凍 機 室 消 火 系	—	—	—	—	—	S O L 冷 凍 機 室 消 火 系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									42.7	(3.6)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.31 HECW 冷凍機・ポンプ(A)(C)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			5	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			HECW 冷凍機・ポンプ (A)(C)室消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 24.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
H E C W 冷 凍 機 ・ ポ ン プ (A) (C) 室 消 火 系	—					H E C W 冷 凍 機 ・ ポ ン プ (A) (C) 室 消 火 系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									76.3	(5.2)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.32 燃料デイトンク(A)室消火系

(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		燃料デイトンク(A)室 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 24.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
燃料デイトンク (A) 室 消火系	—	—				燃料デイトンク (A) 室 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.33 燃料デイトンク (HPCS) 室消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			燃料デイトンク (HPCS) 室 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O. P. 24.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
燃料デイトンク (HPCS) 室 消火系	—	—				燃料デイトンク (HPCS) 室 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.34 空調機械(A)室／(B)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	20		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		空調機械(A)室／(B)室 消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 1.53m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
空調機械(A)室/ 消火系(B)室	—	—				空調機械(A)室/ 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									89.1	(7.6)	STPG370
						空調機械(B)室分岐点 ~ 空調機械(B)室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									89.1	(7.6)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.35 250V 直流主母線盤室／125V(A)-1 室消火系

(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	6		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		250V 直流主母線盤室／ 125V(A)-1 室消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 1.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
250V直流主母線盤室／125V(A)1室 消火系	—	—				250V直流主母線盤室／125V(A)1室 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									42.7	(3.6)	SUS304TP
									42.7	(4.9)	STPG370
						250V直流主母線盤室分岐点 ～ 250V直流主母線盤室	5.2	40	60.5	(3.9)	SUS304TP
									60.5	(5.5)	STPG370
									42.7	(3.6)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.36 DC250V バッテリー室消火系

(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			2	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			DC250V バッテリー室 消火系
	設 置 床	—			制御建屋 O.P. 1.53m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
バ ッ テ リ 室 消 火 系 D C 2 5 0 V	—	—				バ ッ テ リ 室 消 火 系 D C 2 5 0 V	5.2	40	ハロン1301貯蔵容器 ～ DC250Vバッテリー室	89.1	(5.5)	SUS304TP
										60.5	(3.9)	SUS304TP
										42.7	(3.6)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.37 計測制御電源(B)室消火系

(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	8		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		計測制御電源(B)室 消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 8.03m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後							
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
計測制御電源 (B)室 消火系	—					計測制御電源 (B)室 消火系	ハロン1301貯蔵容器 ～ 計測制御電源(B)室		5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
											60.5	(3.9)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.38 代替充電器盤室/RSS 盤室/DC125V(A) 室/(B)室消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			40 以上 (40*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		917*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			5	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			代替充電器盤室/RSS 盤室/DC125V(A)室/(B)室 消火系
	設 置 床	—			制御建屋 O.P. 8.00m
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
代替充電器盤室 / RSS盤室 / DC125V (A)室 / (B)室消火系	—	—				ハロン1301貯蔵容器 ～ DC125Vバッテリー (B)室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP
									34.0	(4.5)	STPG370
						125V代替充電器盤室分岐点 ～ 125V代替充電器盤室	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP
									34.0	(4.5)	STPG370
						RSS盤室分岐点 ～ RSS盤室	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP
									34.0	(4.5)	STPG370
						DC125Vバッテリー (A)室分岐点 ～ DC125Vバッテリー (A)室	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP
									34.0	(4.5)	STPG370

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.39 常用・共通 M/C・P/C 室消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			24	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			常用・共通 M/C・P/C 室 消火系
	設 置 床	—			制御建屋 O.P. 1.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
常用・共通 M / C・P / C 室消火系		—				常用・共通 M / C・P / C 室消火系 ハロン1301貯蔵容器 ～ 常用・共通 M/C・P/C室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.40 計測制御電源(A)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			11	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			計測制御電源(A)室 消火系
	設 置 床	—			制御建屋 O.P. 8.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
計測制御電源(A)室消火系	—	—	—	—	—	計測制御電源(A)室消火系 ハロン1301貯蔵容器 ～ 計測制御電源(A)室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.41 T.S(計測制御電源(B)室北)消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	2		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		T.S (計測制御電源(B)室北) 消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 8.03m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
T.S (計測制御電源 (B) 室北) 消火系	—	—				T.S (計測制御電源 (B) 室北) 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
						ハロン1301貯蔵容器 ～ T.S (計測制御電源 (B) 室北)			60.5	(3.9)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.42 T.S (更衣室北) 消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			40 以上 (40*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		917*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			T.S (更衣室北) 消火系
	設 置 床	—			制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
T.S (更衣室北) 消火系	—	—	—	—	—	T.S (更衣室北) 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.43 T.S (更衣室西) 消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			T.S (更衣室西) 消火系
	設 置 床	—			制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
T.S (更衣室西) 消火系	—	—	—	—	—	T.S (更衣室西) 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.44 区分Ⅰ／Ⅱ／常用系ケーブル処理室消火系
 (2) 容器 (常設)

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	—	溶接容器		
容量	L/個	70 以上 (70*)		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		267.4*
	高さ	mm		1515*
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
材料	—	SM520B		
個数	—	6		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		区分Ⅰ／Ⅱ／常用系 ケーブル処理室 消火系
	設置床	—		制御建屋 O.P. 19.50m
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
区分Ⅰ／Ⅱ／常用系ケーブル処理室消火系	—	—				区分Ⅰ／Ⅱ／常用系ケーブル処理室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									48.6	(3.7)	SUS304TP
									42.7	(3.6)	SUS304TP
									42.7	(4.9)	STPG370
						区分Ⅰケーブル処理室分岐点1 ～ 区分Ⅰケーブル処理室	5.2	40	48.6	(3.7)	SUS304TP
									48.6	(5.1)	STPG370
									48.6	(3.7)	SUS304TP
									48.6	(5.1)	STPG370
区分Ⅱケーブル処理室分岐点 ～ 区分Ⅱケーブル処理室	5.2	40	48.6	(3.7)	SUS304TP						
			48.6	(5.1)	STPG370						

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.45 区分Ⅲケーブル処理室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	19 以上 (19*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		917*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		区分Ⅲケーブル処理室 消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
区分Ⅲケーブル 処理室消火系	—	—				区分Ⅲケーブル 処理室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.46 DC125V 代替バッテリー室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			2	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			DC125V 代替バッテリー室 消火系
	設 置 床	—			制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
DC125V代替バッテリー室消火系		—				DC125V代替バッテリー室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.47 T.S (区分Ⅱケーブル処理室北) 消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			40 以上 (40*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		917*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			T.S (区分Ⅱケーブル処 理室北) 消火系
	設 置 床	—			制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
T.S (区分Ⅱケーブル 処理室北) 消火系	—	—	—	—	—	T.S (区分Ⅱケーブル 処理室北) 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									27.2	(2.9)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.48 PCPS 区分 I エリア消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	一般継目なし容器		
容 量	L/個	40 以上 (40*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		935*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	STH12		
個 数	—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		PCPS 区分 I エリア 消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
PCPS 区分I エリア 消火系		—				PCPS 区分I エリア 消火系	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.49 PCPS 区分Ⅱエリア消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	一般継目なし容器		
容 量	L/個	40 以上 (40*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		935*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	STH12		
個 数	—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		PCPS 区分Ⅱエリア 消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
P C P S 区 分 Ⅱ エ リ ア 消 火 系			—				P C P S 区 分 Ⅱ エ リ ア 消 火 系	ハロン1301貯蔵容器 ～ PCPS区分Ⅱエリア	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.50 PCPS 区分Ⅲエリア消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	一般継目なし容器		
容 量	L/個	40 以上 (40*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		935*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	STH12		
個 数	—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		PCPS 区分Ⅲエリア 消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
PCPS 区分Ⅲ エリア 消火系		—				PCPS 区分Ⅲ エリア 消火系	5.2	40	27.2	(2.9)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.51 PCPS 区分 NON エリア 消火系
 (2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	一般継目なし容器		
容 量	L/個	68 以上 (68*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	STH12		
個 数	—	7		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		PCPS 区分 NON エリア 消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後						
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
P C P S 区 分 N O N エ リ ア 消 火 系	—					P C P S 区 分 N O N エ リ ア 消 火 系	ハロン1301貯蔵容器	5.2	40	48.6	(3.7)	SUS304TP
							～ PCPS区分NONエリア	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.52 緊急対策室他消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			8	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			緊急対策室他消火系
	設 置 床	—			緊急時対策建屋 O.P. 62.20m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

O 2 ① II R O

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
緊急対策室他消火系	—						緊急対策室他消火系	ハロン1301貯蔵容器 ～ 非常用フィルタ室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
								ハロン1301貯蔵容器 ～ 非常用フィルタ室	5.2	40	76.3	(5.2)	SUS304TP
								ハロン1301貯蔵容器 ～ 非常用フィルタ室	5.2	40	48.6	(3.7)	SUS304TP
								通信機械室分岐点 ～ 通信機械室	5.2	40	48.6	(3.7)	SUS304TP
								予備品保管室分岐点 ～ 予備品保管室	5.2	40	48.6	(3.7)	SUS304TP
								緊急対策室分岐点 ～ 緊急対策室	5.2	40	76.3	(5.2)	SUS304TP
								緊急対策エリア用 空調機械室分岐点 ～ 緊急対策エリア用 空調機械室	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP

(続き)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
緊急対策室他消火系	—	—	—	—	—	SPDS室分岐点 ～ SPDS室	5.2	40	60.5	(3.9)	SUS304TP
						電気品(A)室分岐点 ～ 電気品(A)室	5.2	40	48.6	(3.7)	SUS304TP
						電気品(B)室分岐点 ～ 電気品(B)室	5.2	40	48.6	(3.7)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : () 内は公称値を示す。

8.4.2.2.53 緊急時対策所軽油タンク(A)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称				ハロン 1301 貯蔵容器
種 類		—		溶接容器
容 量		L/個		70 以上 (70*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料		—		SM520B
個 数		—		1
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		緊急時対策所 軽油タンク(A)室消火系
	設 置 床	—		緊急時対策建屋 O.P. 62.20m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後						
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
緊急時対策所軽油タンク(A)室消火系	—	—				緊急時対策所軽油タンク(A)室消火系	ハロン1301貯蔵容器 ～ 軽油タンク(A)室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
								5.2	40	48.6	(3.7)	
								5.2	40	34.0	(3.4)	

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : () 内は公称値を示す。

8.4.2.2.54 緊急時対策所軽油タンク(B)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	—	溶接容器		
容量	L/個	70 以上 (70*)		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		267.4*
	高さ	mm		1515*
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
材料	—	SM520B		
個数	—	1		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		緊急時対策所 軽油タンク(B)室消火系
	設置床	—		緊急時対策建屋 O.P. 62.20m
	溢水防護上の 区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記*：公称値を示す。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
緊急時対策所軽油タンク(B)室消火系	—	—				緊急時対策所軽油タンク(B)室消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
						ハロン1301貯蔵容器 ～ 軽油タンク(B)室	5.2	40	48.6	(3.7)	
							5.2	40	34.0	(3.4)	

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : () 内は公称値を示す。

8.4.2.2.55 緊急時対策所軽油タンク(C)室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			緊急時対策所 軽油タンク(C)室消火系
	設 置 床	—			緊急時対策建屋 O.P. 62.20m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

O 2 ① II R 0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
緊急時対策所軽油タンク(C)室消火系	—	—				緊急時対策所軽油タンク(C)室消火系					SUS304TP
							5.2	40	89.1	(5.5)	
							5.2	40	48.6	(3.7)	
						ハロン1301貯蔵容器 ～ 軽油タンク(C)室	5.2	40	34.0	(3.4)	

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : () 内は公称値を示す。

02①ⅡR0

8.4.2.2.56 E/B 電気品室消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	10		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		E/B 電気品室 消火系
	設 置 床	—		緊急用電気品建屋 O.P. 56.40m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
E / B 電気品室消火系	—	—	—	—	—	E / B 電気品室消火系 ハロン1301貯蔵容器 ～ E/B電気品室	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									76.3	(5.2)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.57 R/B MCC 2SB-1 消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種 類	—			溶接容器	
容 量	L/個			70 以上 (70*)	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*	
	高 さ	mm		1515*	
	胴 部 厚 さ	mm			
	底 部 厚 さ	mm			
材 料	—			SM520B	
個 数	—			2	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			R/B MCC 2SB-1 消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
R / B M C C 2 S B 1 消 火 系	—					R / B M C C 2 S B 1 消 火 系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									42.7	(3.6)	SUS304TP
									34.0	(3.4)	SUS304TP
						R/B MCC 2SB-1 分岐点 ~ R/B MCC 2SB-1 噴射ヘッド2	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.58 SLCポンプ(A)/(B)消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—			溶接容器
容 量	L/個			70 以上 (70*)
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			SM520B
個 数	—			3
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		SLC ポンプ(A)/(B) 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
SLCポンプ(A) / (B) 消火系	—	—				ハロン1301貯蔵容器 ～ SLCポンプ(A)噴射ヘッド2	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									42.7	(3.6)	SUS304TP
									42.7	(4.9)	STPG370
									34.0	(3.4)	SUS304TP
						SLC(A)分岐点2 ～ SLCポンプ(A)噴射ヘッド1	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP
						SLC(A)分岐点1 ～ SLCポンプ(A)噴射ヘッド4	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
						34.0			(3.4)	SUS304TP	
						SLC(A)分岐点3 ～ SLCポンプ(A)噴射ヘッド3	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP
						SLC(B)分岐点1 ～ SLCポンプ(B)噴射ヘッド2	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
						42.7			(4.9)	STPG370	
						34.0			(3.4)	SUS304TP	
						SLC(B)分岐点3 ～ SLCポンプ(B)噴射ヘッド1	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP
						SLC(B)分岐点2 ～ SLCポンプ(B)噴射ヘッド4	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
						34.0			(3.4)	SUS304TP	
SLC(B)分岐点4 ～ SLCポンプ(B)噴射ヘッド3	5.2	40	34.0	(3.4)	SUS304TP						

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.59 HECW 冷凍機(B)／(D) 消火系

(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—	溶接容器		
容 量	L/個	70 以上 (70*)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—	SM520B		
個 数	—	8		
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		HECW 冷凍機(B)／(D) 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 24.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
HECW冷凍機 (B) / (D) 消火系	—	—				ハロン1301貯蔵容器 ～ HECW冷凍機 (D) 噴射ヘッド2	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									89.1	(7.6)	STPG370
									60.5	(3.9)	SUS304TP
									42.7	(3.6)	SUS304TP
						HECW (D) 分岐点2 ～ HECW冷凍機 (D) 噴射ヘッド1	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
						HECW (D) 分岐点1 ～ HECW冷凍機 (D) 噴射ヘッド4	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
						HECW (D) 分岐点3 ～ HECW冷凍機 (D) 噴射ヘッド3	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
						HECW (B) 分岐点1 ～ HECW冷凍機 (B) 噴射ヘッド2	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP
									89.1	(7.6)	STPG370
									76.3	(5.2)	SUS304TP
									42.7	(3.6)	SUS304TP
						HECW (B) 分岐点3 ～ HECW冷凍機 (B) 噴射ヘッド1	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
						HECW (B) 分岐点2 ～ HECW冷凍機 (B) 噴射ヘッド4	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP
						HECW (B) 分岐点4 ～ HECW冷凍機 (B) 噴射ヘッド3	5.2	40	42.7	(3.6)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.2.60 HECW 冷水ポンプ(B)／(D) 消火系
(2) 容器 (常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種 類	—			溶接容器
容 量	L/個			70 以上 (70*)
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4*
	高 さ	mm		1515*
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			SM520B
個 数	—			1
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		HECW 冷水ポンプ(B)／(D) 消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 24.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管 (常設)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
HECW冷水ポンプ(B) / (D) 消火系	—	—	—	—	—	HECW冷水ポンプ(B) / (D) 消火系	5.2	40	89.1	(5.5)	SUS304TP	
									34.0	(3.4)	SUS304TP	
									34.0	(4.5)	STPG370	
									HECW(D)分岐点2 ~ HECW冷水ポンプ(D)噴射ヘッド2	34.0	(3.4)	SUS304TP
									HECW(D)分岐点1 ~ HECW冷水ポンプ(D)噴射ヘッド4	34.0	(3.4)	SUS304TP
									HECW(D)分岐点3 ~ HECW冷水ポンプ(D)噴射ヘッド3	34.0	(3.4)	SUS304TP
									HECW(B)分岐点1 ~ HECW冷水ポンプ(B)噴射ヘッド2	34.0	(3.4)	SUS304TP
									HECW(B)分岐点3 ~ HECW冷水ポンプ(B)噴射ヘッド1	34.0	(4.5)	STPG370
									HECW(B)分岐点2 ~ HECW冷水ポンプ(B)噴射ヘッド4	34.0	(3.4)	SUS304TP
									HECW(B)分岐点4 ~ HECW冷水ポンプ(B)噴射ヘッド3	34.0	(3.4)	SUS304TP

注記*1 : 外径は公称値を示す。
*2 : ()内は公称値を示す。

8.4.2.3 ケーブルトレイ消火設備

8.4.2.3.1 ケーブルトレイ消火系

(2) 容器(常設)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P800用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 5.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器 (P401, P404, P801, P803用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0. P. 5. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P802用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 5.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S100②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 5.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C400②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 5.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(P400用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 5.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S100①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O. P. 5. 50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C400①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 5.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S605用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 5. 50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C608用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 5.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P607用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 5. 50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C300②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S300②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S300③用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C300③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P403⑧, P101⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C403⑧, C100⑧用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S101④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S101③用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C403⑦, C100⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P403⑦, P101⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑦, C403⑨, C100⑨用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑧, C403⑩, C100⑩用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑤用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C403⑥, C100⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P403⑥, P101④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S101②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C100⑤用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C403⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(P101③用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	FK-5-1-12貯蔵容器(P403⑤用)
種 類	-			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	-			STH12
個 数	-			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	-		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		-

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S101①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P403④, C403④, C100④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P403③, C403③, C100③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C403②, C100②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器 (P403②, P101②, C749用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P403①, P101①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C403①, C100①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P503①, C501①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 18.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S202①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P502①, P503②, C501②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0. P. 18. 80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S300④用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 18.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	FK-5-1-12貯蔵容器(C300④用)
種 類	-			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	-			STH12
個 数	-			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	-		原子炉建屋 O.P. 18.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-	-	

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P202①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 18.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C202①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 18.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P502②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 18.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(P503③用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 18.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	FK-5-1-12貯蔵容器(C501③用)
種 類	-			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	-			STH12
個 数	-			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	-		原子炉建屋 O.P. 18.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S202②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P502③, P503⑤, P202③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C501④, C202②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑤, P503⑦, P202⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P502④, P503⑥, P202④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑥, C202④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S202④用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S202⑤用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑦, C202⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P502⑥, P503⑧, P202⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(P769用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C501-1用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S703用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後	
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C736用)	
種 類	—			鋼製容器	
容 量	L/個			<input type="text"/>	
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	<input type="text"/>	
	高 さ	mm		<input type="text"/>	
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>	
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>	
材 料	—				STH12
個 数	—				<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C729用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S704用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S202③用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑤, C202③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P503④, P202②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C300①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S300①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑫用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後	
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C403②用)	
種 類		—		鋼製容器	
容 量		L/個		<input type="text"/>	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	<input type="text"/>	
	高 さ	mm		<input type="text"/>	
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>	
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>	
材 料		—		STH12	
個 数		—		<input type="text"/>	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑩用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P101①, C403⑨, C100⑨用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑫, C403⑳, C100㉑用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑩用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C403®用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C100 [®] 用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S101㊸用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C100⑰用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C403⑰用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑧用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P403 ^⑬ , C403 ^⑮ , C100 ^⑮ 用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P403①, C403⑬, C100⑬用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑫, C403⑭, C100⑭用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C403 ^⑩ , C100 ^⑩ 用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm	—	<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑨, C403⑩, C100⑩用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P403⑩, C403⑫, C100⑫用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P503⑨, P202⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑧, C202⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S202⑥用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(P503①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P503⑩, P202⑧用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑨, C202⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S202⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C501⑩, C202⑨用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P503⑫, P202⑩用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S202⑧用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P202⑨, C501⑩, C202⑧用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P202①, C501②, C202⑩用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S709①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S708用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器 (C403②④, C809用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑨, C403⑳, C100㉑用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P101⑩, C403⑳, C100㉑用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S101⑬, S709②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器 (P201①, C201用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P701⑨, P700⑨, P610⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K702⑧, K706⑧用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K602②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P602⑥, C606④, C601②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P701⑧, P700⑧, P610⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C606③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S602③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑦, K706⑦, P701⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑦, P610④, P602④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P602⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑥, K706⑥, P701⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑥, P610③, P602③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C606②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S602②用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (K702⑤, K706⑤, P701⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P700⑤, P610②, P602②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器 (K601, P600, P601用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S601②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (K702④, K706④, P701④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P700④, P610①, P602①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(P201⑥用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (K702①, K706①, P701①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P700①, P500①, P501①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (K702②, K706②, P701②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P700②, P500②, P501②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C606①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (K702③, K706③, P701③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (P700③, P500③, P501③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S602①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C602①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C603②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S600①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C601①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C602②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S600④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S600③用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S601③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	FK-5-1-12貯蔵容器(S600②用)
種 類	-			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	-			STH12
個 数	-			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	-		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P300①, C300⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S300⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P300③, C300⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S300㉔用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P300②, C300⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P300④, C300⑧用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K100③, P402③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(P102⑤, C100⑦用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S100③用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K100⑥, P402⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P102⑥, C100⑳用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S100④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K100⑦, P402⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P102⑦, C100⑨用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K201②, P502⑧用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P201③, C200②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P201④, C200③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K201③, P502⑨用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S200②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C200④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(P201⑤用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P102②, C100④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K100②, P402②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P102①, C100②③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -4.70m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K100①, P402①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm	—	<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -4.70m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S200①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S601①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器 (K602①, P603, C603①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P201②, C200①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K201①, P502⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P102④, C100⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm	—	<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K100⑤, P402⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P102③, C100⑤用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K100④, P402④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S100⑥用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -0.80m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K100⑧, P402⑧用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm	—	<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. 8.85m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P102⑧, C100⑩用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. 8.85m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S100㊸用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. 8.85m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	FK-5-1-12貯蔵容器(S100®用)
種 類	-			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	-			STH12
個 数	-			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	-		補機冷却系トレンチ O.P. 8.85m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-	-	

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(P102⑨, C100⑩用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. 8.85m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K100㊸, P402㊸用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. 8.85m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	FK-5-1-12貯蔵容器(P502⑩用)
種 類	-			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	-			STH12
個 数	-			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	-		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-	-	

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K201④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		補機冷却系トレンチ O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S300⑦用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 19. 50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C300㊸用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 19.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (K610③, K611③, K612③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0. P. 6. 90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (K610②, K611②, K612②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0. P. 6. 90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器 (K610①, K611①, K612①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		□
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料		—		STH12
個 数		—		□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0. P. 6. 90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K003①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. -8.10m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K003②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後	
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(K003③用)	
種 類		—		鋼製容器	
容 量		L/個		<input type="text"/>	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	<input type="text"/>	
	高 さ	mm		<input type="text"/>	
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>	
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>	
材 料		—			STH12
個 数		—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 0.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S003③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後	
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C008③用)	
種 類		—		鋼製容器	
容 量		L/個		<input type="text"/>	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	<input type="text"/>	
	高 さ	mm		<input type="text"/>	
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>	
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>	
材 料		—			STH12
個 数		—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋 0.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S003②用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C008②用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S003①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C008①用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 6.90m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C004用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C001②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S001②用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 22.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(K002用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 28.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C001①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 28.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S001①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 28.50m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S751①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S750①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S750②用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S751②用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S750③用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 0.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S751③用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S750④用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S751④用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S750⑤用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C002②用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(C003用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S002用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S750⑥用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(C002①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S750⑦用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S751⑥用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S751⑤用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称				FK-5-1-12貯蔵容器(S754用)
種 類		—		鋼製容器
容 量		L/個		<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料		—		STH12
個 数		—		<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S755用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S752①用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		<input type="text"/>
	胴 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
	底 部 厚 さ	mm		<input type="text"/>
材 料	—			STH12
個 数	—			<input type="text"/>
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S752②用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 0. P. 15. 00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	FK-5-1-12貯蔵容器(S753用)
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			□
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		□
	高 さ	mm		□
	胴 部 厚 さ	mm		□
	底 部 厚 さ	mm		□
材 料	—			STH12
個 数	—			□
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—		ケーブルトレイ消火系
	設 置 床	—		制御建屋 O.P. 15.00m
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記 * : 公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 主配管(常設)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12貯蔵容器(P800用) ～ ケーブルトレイ(P800)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12貯蔵容器 (P401, P404, P801, P803用) ～ ケーブルトレイ (P401, P404, P801, P803)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12貯蔵容器(P802用) ～ ケーブルトレイ(P802)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100②用) ～ ケーブルトレイ (S100②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C400②用) ～ ケーブルトレイ (C400②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P400用) ～ ケーブルトレイ (P400)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器(S100①用) ～ ケーブルトレイ(S100①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器(C400①用) ～ ケーブルトレイ(C400①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12貯蔵容器(S605用) ～ ケーブルトレイ(S605)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12貯蔵容器(C608用) ～ ケーブルトレイ(C608)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12貯蔵容器(P607用) ～ ケーブルトレイ(P607)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (C300②用) ～ ケーブルトレイ (C300②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S300②用) ～ ケーブルトレイ (S300②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S300③用) ～ ケーブルトレイ (S300③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C300③用) ～ ケーブルトレイ (C300③)	4.6	40			C1220T

O2 ① II RO

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑧, P101⑥用) ～ ケーブルトレイ (P403⑧, P101⑥)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403⑧, C100⑧用) ～ ケーブルトレイ (C403⑧, C100⑧)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101④用) ～ ケーブルトレイ (S101④)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101③用) ～ ケーブルトレイ (S101③)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403⑦, C100⑦用) ～ ケーブルトレイ (C403⑦, C100⑦)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑦, P101⑤用) ～ ケーブルトレイ (P403⑦, P101⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101⑦, C403⑨, C100⑨用) ～ ケーブルトレイ (P101⑦, C403⑨, C100⑨)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101⑧, C403⑩, C100⑩用) ～ ケーブルトレイ (P101⑧, C403⑩, C100⑩)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101⑤用) ～ ケーブルトレイ (S101⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403⑥, C100⑥用) ～ ケーブルトレイ (C403⑥, C100⑥)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑥, P101④用) ～ ケーブルトレイ (P403⑥, P101④)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101②用) ～ ケーブルトレイ (S101②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C100⑤用) ～ ケーブルトレイ (C100⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403⑤用) ～ ケーブルトレイ (C403⑤)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101③用) ～ ケーブルトレイ (P101③)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑤用) ～ ケーブルトレイ (P403⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101①用) ～ ケーブルトレイ (S101①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403④, C403④, C100④用) ～ ケーブルトレイ (P403④, C403④, C100④)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403③, C403③, C100③用) ～ ケーブルトレイ (P403③, C403③, C100③)	4.6	40			C1220T

O2 ① II RO

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403②, C100②用) ～ ケーブルトレイ (C403②, C100②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403②, P101②, C749用) ～ ケーブルトレイ (P403②, P101②, C749)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403①, P101①用) ～ ケーブルトレイ (P403①, P101①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403①, C100①用) ～ ケーブルトレイ (C403①, C100①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503①, C501①用) ～ ケーブルトレイ (P503①, C501①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (S202①用) ～ ケーブルトレイ (S202①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502①, P503②, C501②用) ～ ケーブルトレイ (P502①, P503②, C501②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S300④用) ～ ケーブルトレイ (S300④)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C300④用) ～ ケーブルトレイ (C300④)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P202①用) ～ ケーブルトレイ (P202①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C202①用) ～ ケーブルトレイ (C202①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502②用) ～ ケーブルトレイ (P502②)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503③用) ～ ケーブルトレイ (P503③)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501③用) ～ ケーブルトレイ (C501③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (S202②用) ～ ケーブルトレイ (S202②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502③, P503⑤, P202③用) ～ ケーブルトレイ (P502③, P503⑤, P202③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501④, C202②用) ～ ケーブルトレイ (C501④, C202②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502⑤, P503⑦, P202⑤用) ～ ケーブルトレイ (P502⑤, P503⑦, P202⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502④, P503⑥, P202④用) ～ ケーブルトレイ (P502④, P503⑥, P202④)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑥, C202④用) ～ ケーブルトレイ (C501⑥, C202④)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S202④用) ～ ケーブルトレイ (S202④)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S202⑤用) ～ ケーブルトレイ (S202⑤)	4.6	40			C1220T
						ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑦, C202⑤用) ～ ケーブルトレイ (C501⑦, C202⑤)	4.6	40			C1220T
						ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502⑥, P503⑧, P202⑥用) ～ ケーブルトレイ (P502⑥, P503⑧, P202⑥)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12貯蔵容器(P769用) ～ ケーブルトレイ(P769)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12貯蔵容器(C501-1用) ～ ケーブルトレイ(C501-1)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12貯蔵容器(S703用) ～ ケーブルトレイ(S703)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12貯蔵容器(C736用) ～ ケーブルトレイ(C736)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12貯蔵容器(C729用) ～ ケーブルトレイ(C729)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12貯蔵容器(S704用) ～ ケーブルトレイ(S704)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S202③用) ～ ケーブルトレイ (S202③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑤, C202③用) ～ ケーブルトレイ (C501⑤, C202③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503④, P202②用) ～ ケーブルトレイ (P503④, P202②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (C300①用) ～ ケーブルトレイ (C300①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S300①用) ～ ケーブルトレイ (S300①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101⑫用) ～ ケーブルトレイ (S101⑫)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403㉑用) ～ ケーブルトレイ (C403㉑)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101⑩用) ～ ケーブルトレイ (S101⑩)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101⑪, C403⑱, C100⑲用) ～ ケーブルトレイ (P101⑪, C403⑱, C100⑲)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101⑫, C403⑳, C100㉔用) ～ ケーブルトレイ (P101⑫, C403⑳, C100㉔)	4.6	40			C1220T

O2 ① II RO

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101⑩用) ～ ケーブルトレイ (S101⑩)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403⑱用) ～ ケーブルトレイ (C403⑱)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (C100⑱用) ～ ケーブルトレイ (C100⑱)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101⑨)用 ～ ケーブルトレイ (S101⑨)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C100⑰)用 ～ ケーブルトレイ (C100⑰)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403⑰)用 ～ ケーブルトレイ (C403⑰)	4.6	40			C1220T

O2 ① II RO

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101⑦用) ～ ケーブルトレイ (S101⑦)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101⑧用) ～ ケーブルトレイ (S101⑧)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑬, C403⑮, C100⑰用) ～ ケーブルトレイ (P403⑬, C403⑮, C100⑰)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑪, C403⑬, C100⑬用) ～ ケーブルトレイ (P403⑪, C403⑬, C100⑬)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑫, C403⑭, C100⑭用) ～ ケーブルトレイ (P403⑫, C403⑭, C100⑭)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C403⑯, C100⑯用) ～ ケーブルトレイ (C403⑯, C100⑯)	4.6	40			C1220T

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑨, C403⑪, C100⑪用) ～ ケーブルトレイ (P403⑨, C403⑪, C100⑪)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器(S101⑥用) ～ ケーブルトレイ(S101⑥)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P403⑩, C403⑫, C100⑫用) ～ ケーブルトレイ (P403⑩, C403⑫, C100⑫)	4.6	40			C1220T

O2 ① II RO

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503⑨, P202⑦用) ～ ケーブルトレイ (P503⑨, P202⑦)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑧, C202⑥用) ～ ケーブルトレイ (C501⑧, C202⑥)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S202⑥用) ～ ケーブルトレイ (S202⑥)	4.6	40			C1220T

O2 ① II RO

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503⑩用) ～ ケーブルトレイ (P503⑩)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503⑩, P202⑧用) ～ ケーブルトレイ (P503⑩, P202⑧)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑨, C202⑦用) ～ ケーブルトレイ (C501⑨, C202⑦)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S202⑦用) ～ ケーブルトレイ (S202⑦)	4.6	40			C1220T

O2①IIRO

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (C501⑪, C202⑨用) ～ ケーブルトレイ (C501⑪, C202⑨)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P503⑫, P202⑩用) ～ ケーブルトレイ (P503⑫, P202⑩)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S202⑧用) ～ ケーブルトレイ (S202⑧)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P202⑨, C501⑩, C202⑧用) ～ ケーブルトレイ (P202⑨, C501⑩, C202⑧)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P202⑪, C501⑫, C202⑩用) ～ ケーブルトレイ (P202⑪, C501⑫, C202⑩)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (S709①用) ～ ケーブルトレイ (S709①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12貯蔵容器(S708用) ～ ケーブルトレイ(S708)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12貯蔵容器 (C403④, C809用) ～ ケーブルトレイ(C403④, C809)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101⑨, C403⑬, C100⑳用) ～ ケーブルトレイ (P101⑨, C403⑬, C100⑳)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P101⑩, C403②, C100②用) ～ ケーブルトレイ (P101⑩, C403②, C100②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S101⑬, S709②用) ～ ケーブルトレイ (S101⑬, S709②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P201①, C201用) ～ ケーブルトレイ (P201①, C201)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P701⑨, P700⑨, P610⑥用) ～ ケーブルトレイ (P701⑨, P700⑨, P610⑥)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K702⑧, K706⑧用) ～ ケーブルトレイ (K702⑧, K706⑧)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K602②用) ～ ケーブルトレイ (K602②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P602⑥, C606④, C601②用) ～ ケーブルトレイ (P602⑥, C606④, C601②)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P701⑧, P700⑧, P610⑤用) ～ ケーブルトレイ (P701⑧, P700⑧, P610⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (C606③用) ～ ケーブルトレイ (C606③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S602③用) ～ ケーブルトレイ (S602③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K702⑦, K706⑦, P701⑦用) ～ ケーブルトレイ (K702⑦, K706⑦, P701⑦)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700⑦, P610④, P602④用) ～ ケーブルトレイ (P700⑦, P610④, P602④)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P602⑤用) ～ ケーブルトレイ (P602⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K702⑥, K706⑥, P701⑥用) ～ ケーブルトレイ (K702⑥, K706⑥, P701⑥)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700⑥, P610③, P602③用) ～ ケーブルトレイ (P700⑥, P610③, P602③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (C606②用) ～ ケーブルトレイ (C606②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S602②用) ～ ケーブルトレイ (S602②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K702⑤, K706⑤, P701⑤用) ～ ケーブルトレイ (K702⑤, K706⑤, P701⑤)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700⑤, P610②, P602②用) ～ ケーブルトレイ (P700⑤, P610②, P602②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K601, P600, P601用) ～ ケーブルトレイ (K601, P600, P601)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器(S601②用) ～ ケーブルトレイ(S601②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K702④, K706④, P701④用) ～ ケーブルトレイ (K702④, K706④, P701④)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700④, P610①, P602①用) ～ ケーブルトレイ (P700④, P610①, P602①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (P201⑥用) ～ ケーブルトレイ (P201⑥)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K702①, K706①, P701①用) ～ ケーブルトレイ (K702①, K706①, P701①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700①, P500①, P501①用) ～ ケーブルトレイ (P700①, P500①, P501①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K702②, K706②, P701②用) ～ ケーブルトレイ (K702②, K706②, P701②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700②, P500②, P501②用) ～ ケーブルトレイ (P700②, P500②, P501②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (C606①用) ～ ケーブルトレイ (C606①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K702③, K706③, P701③用) ～ ケーブルトレイ (K702③, K706③, P701③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P700③, P500③, P501③用) ～ ケーブルトレイ (P700③, P500③, P501③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (S602①用) ～ ケーブルトレイ (S602①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (C602①用) ～ ケーブルトレイ (C602①)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (C603②用) ～ ケーブルトレイ (C603②)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (S600①用) ～ ケーブルトレイ (S600①)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (C601①用) ～ ケーブルトレイ (C601①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C602②用) ～ ケーブルトレイ (C602②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S600④用) ～ ケーブルトレイ (S600④)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (S600③用) ～ ケーブルトレイ (S600③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S601③用) ～ ケーブルトレイ (S601③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S600②用) ～ ケーブルトレイ (S600②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P300①, C300⑤用) ～ ケーブルトレイ (P300①, C300⑤)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S300⑤用) ～ ケーブルトレイ (S300⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P300③, C300⑦用) ～ ケーブルトレイ (P300③, C300⑦)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S300⑥用) ～ ケーブルトレイ (S300⑥)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P300②, C300⑥用) ～ ケーブルトレイ (P300②, C300⑥)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P300④, C300⑧用) ～ ケーブルトレイ (P300④, C300⑧)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100③, P402③用) ～ ケーブルトレイ (K100③, P402③)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102⑤, C100⑦用) ～ ケーブルトレイ (P102⑤, C100⑦)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100③用) ～ ケーブルトレイ (S100③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100⑥, P402⑥用) ～ ケーブルトレイ (K100⑥, P402⑥)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102⑥, C100⑳用) ～ ケーブルトレイ (P102⑥, C100⑳)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100④用) ～ ケーブルトレイ (S100④)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100⑦, P402⑦用) ～ ケーブルトレイ (K100⑦, P402⑦)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102⑦, C100②⑨用) ～ ケーブルトレイ (P102⑦, C100②⑨)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (K201②, P502⑧用) ～ ケーブルトレイ (K201②, P502⑧)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P201③, C200②用) ～ ケーブルトレイ (P201③, C200②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P201④, C200③用) ～ ケーブルトレイ (P201④, C200③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K201③, P502⑨用) ～ ケーブルトレイ (K201③, P502⑨)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S200②用) ～ ケーブルトレイ (S200②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C200④用) ～ ケーブルトレイ (C200④)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P201⑤用) ～ ケーブルトレイ (P201⑤)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100⑤用) ～ ケーブルトレイ (S100⑤)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102②, C100④用) ～ ケーブルトレイ (P102②, C100④)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100②, P402②用) ～ ケーブルトレイ (K100②, P402②)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102①, C100②③用) ～ ケーブルトレイ (P102①, C100②③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100①, P402①用) ～ ケーブルトレイ (K100①, P402①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S200①用) ～ ケーブルトレイ (S200①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S601①用) ～ ケーブルトレイ (S601①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K602①, P603, C603①用) ～ ケーブルトレイ (K602①, P603, C603①)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P201②, C200①用) ～ ケーブルトレイ (P201②, C200①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K201①, P502⑦用) ～ ケーブルトレイ (K201①, P502⑦)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102④, C100⑥用) ～ ケーブルトレイ (P102④, C100⑥)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100⑤, P402⑤用) ～ ケーブルトレイ (K100⑤, P402⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100⑦用) ～ ケーブルトレイ (S100⑦)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102③, C100⑤用) ～ ケーブルトレイ (P102③, C100⑤)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100④, P402④用) ～ ケーブルトレイ (K100④, P402④)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100⑥用) ～ ケーブルトレイ (S100⑥)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100⑧, P402⑧用) ～ ケーブルトレイ (K100⑧, P402⑧)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102⑧, C100⑩用) ～ ケーブルトレイ (P102⑧, C100⑩)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100⑨用) ～ ケーブルトレイ (S100⑨)	4.6	40			C1220T

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S100⑧用) ～ ケーブルトレイ (S100⑧)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (P102⑨, C100⑩用) ～ ケーブルトレイ (P102⑨, C100⑩)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (K100⑨, P402⑨用) ～ ケーブルトレイ (K100⑨, P402⑨)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (P502⑩用) ～ ケーブルトレイ (P502⑩)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K201④用) ～ ケーブルトレイ (K201④)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S300⑦用) ～ ケーブルトレイ (S300⑦)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C300⑨用) ～ ケーブルトレイ (C300⑨)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (K610③, K611③, K612③用) ～ ケーブルトレイ (K610③, K611③, K612③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K610②, K611②, K612②用) ～ ケーブルトレイ (K610②, K611②, K612②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (K610①, K611①, K612①用) ～ ケーブルトレイ (K610①, K611①, K612①)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (K003①用) ～ ケーブルトレイ (K003①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (K003②)用 ～ ケーブルトレイ (K003②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (K003③用) ～ ケーブルトレイ (K003③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S003③用) ～ ケーブルトレイ (S003③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C008③用) ～ ケーブルトレイ (C008③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S003②用) ～ ケーブルトレイ (S003②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C008②用) ～ ケーブルトレイ (C008②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S003①用) ～ ケーブルトレイ (S003①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (C008①用) ～ ケーブルトレイ (C008①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器(C004 用) ～ ケーブルトレイ(C004)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (C001②用) ～ ケーブルトレイ (C001②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S001②用) ～ ケーブルトレイ (S001②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (K002 用) ～ ケーブルトレイ (K002)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (C001①用) ～ ケーブルトレイ (C001①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S001①用) ～ ケーブルトレイ (S001①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S751①用) ～ ケーブルトレイ (S751①)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750①用) ～ ケーブルトレイ (S750①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750②用) ～ ケーブルトレイ (S750②)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S751②用) ～ ケーブルトレイ (S751②)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750③用) ～ ケーブルトレイ (S750③)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S751③用) ～ ケーブルトレイ (S751③)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750④用) ～ ケーブルトレイ (S750④)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (S751④用) ～ ケーブルトレイ (S751④)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750⑤用) ～ ケーブルトレイ (S750⑤)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (C002②用) ～ ケーブルトレイ (C002②)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (C003 用) ～ ケーブルトレイ (C003)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (S002 用) ～ ケーブルトレイ (S002)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750⑥用) ～ ケーブルトレイ (S750⑥)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系 FK-5-1-12 貯蔵容器 (C002①用) ～ ケーブルトレイ (C002①)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系	—	—	—	—	—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S750⑦用) ～ ケーブルトレイ (S750⑦)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S751⑥用) ～ ケーブルトレイ (S751⑥)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (S751⑤用) ～ ケーブルトレイ (S751⑤)	4.6	40			C1220T

O2 ① II R0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ケーブルトレイ消火系			—			FK-5-1-12 貯蔵容器(S754 用) ～ ケーブルトレイ (S754)	4.6	40			C1220T
						FK-5-1-12 貯蔵容器(S755 用) ～ ケーブルトレイ (S755)	4.6	40			C1220T

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
ケーブルトレイ消火系			—			ケーブルトレイ消火系	FK-5-1-12 貯蔵容器 (S752①用) ～ ケーブルトレイ (S752①)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (S752②用) ～ ケーブルトレイ (S752②)	4.6	40			C1220T
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (S753 用) ～ ケーブルトレイ (S753)	4.6	40			C1220T

注記 *1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。